

No.25 >>> Contents

●提携支援センターから

絹の郷・絹の会 . . . 絹の会ぐんま 200 プロジェクト 代表 西尾仁志	1
純国産絹製品の魅力を訴求 社団法人 日本絹業協会	4
平成 24 年度第 1 次分の純国産絹マーク使用許諾状況 社団法人 日本絹業協会	9
提携支援センター活動日誌 No. 25	12

●蚕糸絹情報

「皇后陛下喜寿記念特別展」を見て 社団法人 日本絹業協会 顧問 吉國 隆	14
---	----

●提携事業と新蚕品種

色繭を生産する蚕品種 . . 財団法人 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 所長 井上 元	16
---	----

●今月の話題

繭工芸に活用できる色繭とシルクシートの簡便な作り方 群馬県立日本絹の里 町田順一	19
---	----

●蚕糸絹トピックス

新装なった横浜の「シルク博物館」 (財)シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館 館長 高桑正敏	24
---	----

●国内情報

シルク遺産を訪ねて⑤ 塩沢つむぎ記念館と鈴木牧之記念館 東京産業考古学会 副会長 平井 東幸	29
---	----

●トピックス

国内産地情報、海外情報 (中国)	32
----------------------------	----

●イベント情報

●純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

●蚕糸関係博物館一覧

●蚕糸関係団体ホームページ一覧

●統計資料

(統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。)

絹の郷・絹の会

絹の会ぐんま 200 プロジェクト

代 表 西尾 仁志

私は、繭取引と生糸生産で栄えた町、群馬県前橋市できものの小売業を営んでいる。

「機之音 製糸の煙 桑の海」と徳富蘆花が群馬を詠った、まさにそのままの風景の中で育った。郊外に出ると一面の桑畑が広がっていた。町内には何軒もの製糸場があり、春繭が出荷される頃など、深夜まで糸が挽かれ、繭を煮る匂いが充満していた。前橋の街には、往時を偲ばせる繭や生糸を収めた煉瓦倉庫や蚕業試験場・旧繭検定所などが現在でもある。

今から十数年前、国内の蚕糸業の状況を知り、愕然とした。自ら商いをする絹の原料の多くが、すでにその時点で海外のものである事、白生地をはじめ絹製品の一部も

輸入されている事を知り、疑問に思った。身近にいつまでもあると思った桑園の風景も、気が付けばいつの間にか、消え去ってしまっていた。「桑田変じて滄海となる」の喩通りの状況が進んでいたのだ。

絹の町で育ち、絹を扱う仕事を生業とする以上、わずかながらも存続し得た蚕糸業の振興に役立てる事はないか、と考えた。まず何故、日本の蚕糸業がここまで衰退してしまったかを多くの関係者から聞いてみた。直接的には、海外の安い生糸や繭の輸入がその原因であることを知った。しかしそれ以上にショッキングであったのは、聞き取りをした丹後の機業や染織作家、産地の織物業者など、多くの方から国産の糸を使いたいけれども、品質に問題があり使



写真1 2008年「絹の郷シンポジウム」主催 絹の会・群馬県

えない、との言葉であった。かつて最高の品質を誇り、それ故、世界に受け入れられた日本の絹。改良を重ねた蚕品種、高い養蚕や製糸の技術をもってして、何故という疑問がわいた。その原因は様々あるだろうが、それでも最良と思われる方法で作る糸であれば、果たしてその評価はどうであるか、そんな事を試みてみようと考えた。平成15年、一年の準備期間を経て、日本古来の在来種である「又昔」の飼育を群馬県蚕糸園芸課や蚕糸技術センターの協力を得て行った。明治時代まで高い評価を得ていたこの蚕品種が、現行品種より着物の素材としてふさわしいのではないかとこの考えからであった。しかしこれは、養蚕の段階において困難が生じ、失敗をしてしまった。その反省を踏まえ、中国種と交配した「上州絹星」が群馬オリジナル蚕品種として平成19年に生まれた。

平成15年からは、前橋市内で養蚕の技術力が高く熱心な3戸の農家を選び、群馬オリジナル蚕品種「ぐんま200」の飼育を依頼。碓氷製糸において、春繭は生繰り、

晩秋繭は塩蔵後に低速で繰糸し、生糸の生産をしている。これらの糸は、丹後などで白生地に製織をしたり、全国の染織作家に斡旋をしたりしている。この事業は、平成20年から始まった蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業と同じ趣旨のものである。農家には繭生産意欲を引き出すために特約飼育金を支払った。20年には、糸を供給する染織工芸作家を中心メンバーとして、「絹の会」を発会。その年に群馬県との共催で「絹の郷シンポジウム」を開催し、全国から120名の参加者を集めた。絹の会は現在会員数50名、生糸・絹糸の斡旋や、糸を生かす為の研究会、現地見学会などの事業を、毎年行っている。「絹の会」が企画・生産する糸への評価は高く、日本を代表する染織家をはじめ、素材にこだわり、誠実なモノ作りに励む多くの作家の支持を得ている。

わが国は、世界有数の絹の消費国、きものをはじめとする絹の製品をこよなく愛する国だ。しかし今日、国内の絹需要のわずか0.5%しか国産絹で賄えないという。こ



写真2 2010年研修会
絹精練の技法について研修



写真3 2012年研修会
絹の会特約農家 松井 喬氏蚕室



写真 4 2012 年研修会
碓氷製糸農業協同組合見学

これまで落ち込んだ国産絹に拘泥する事など無いのではないかと、との意見も確かにある。しかし私は、きものに代表される高度な日本の染織と染織文化の根底を支えたのは、日本が繭・生糸の生産国、絹の国であり続けたからではないかと思う。特に絹の着物に対して、単なる衣類ではない特別な想いを寄せ、尊いものとの認識を育んだのも、ここにあると確信する。又、国内の蚕糸業が無くなってしまう事は、明治期の殖産興業の時代から国の知力を結集して築かれた、蚕糸に関する知識や情報などの財産、世界最高位の技術が無に帰してしまう事にもなりかねない。染織活動においては、さまざまな蚕品種、製糸方法など制作に合わせて、糸の選択が出来なくなり、創作の幅が狭められてしまう事にもなる。

しかし今日、蚕糸業の衰退は、加速度的に進んでいる。さまざまな施策がなされる中での止めどない後退に、危機感をおぼえる。特に養蚕に従事する農家の、計ったよ



写真 5 2012 年研修会
赤城ざぐり製糸 石田工房見学

うな毎年の減少は、高齢化をその原因とする自然減と思われるものであり、このままの減少率でいけば数年後には、確実に養蚕農家は消え行ってしまう事にもなりかねない。最も早急かつ重層的な対策が望まれる問題である。

一方、ほとんどが海外の絹である現況は、一般にどれほど認識されているのだろうか。その中でも消費者は、国産のものを望んでいるという調査結果は光明を見いだせるものであった。過去に様々行われた施策は、全て生産や流通の側への、てこ入れであった。その結果がこの惨状だ。もっと消費者への働きかけや啓発活動が必要ではないだろうか。

消費者が自らもっと明快に選択をする機会を与えられれば、消費の在り様も変わってくるのではないかとと思う。

かけがえのない日本の絹を国民全体で守ろうという気概を喚起することが、待ち望まれる。

純国産絹製品の魅力を訴求 —京都産業会館で「純国産絹製品展」を開催—

社団法人 日本絹業協会

平成24年6月2日（土）～6日（水）までの5日間にわたり、当協会は、京都市の京都産業会館4階展示場において「純国産絹製品展」を開催しました。財団法人大日本蚕糸会、一般社団法人日本絹人織織物工業会、京都織物卸商業組合、社団法人全日本きもの振興会からそれぞれ後援を頂きました。

開催の目的

この展示会は和服の一大集散地である京

都において流通業界、一般消費者等に純国産絹製品の魅力を発信することを目的として開催されたものです。この時期は、京都・室町の染漬問屋・室町商社の商談会が集中して開催され、全国の産地問屋、呉服専門店が京都に集まる時期です。また、日程の中に土、日を入れたことにより、きもの愛好家などの一般消費者にも見学しやすい日程としました。

なお、本展示会は、大日本蚕糸会が実施している「蚕糸・絹業提携支援緊急対策事



会場に華を添えた株式会社千總の振袖

業」の委託事業として当協会が開催したものであり、本年度で21年度から数えて第4回目の開催となりました。

出展者は24者で、うち洋装関係者も3者が参加し、400点余りの純国産絹製品を展示しました。

展示の内容

来場者に「出展目録」と各社の製品の特徴を記した「製品の紹介」を配布して、純国産絹製品の最大の特徴である生産履歴（川上から川下までの生産者・流通業者が提携）が明確な製品づくりをしていることを説明しました。

また、製品の生産過程のパネルを展示するとともに、蚕糸・絹業提携システムの概要及びこれらを解説したビデオも放映しました。

更に、養蚕用具の展示、上州式座繰器での繰糸実演、群馬県が開発した蚕品種（ぐんま黄金、ぐんま200）による蚕の実際の飼育と営繭の様子を展示及び西陣織工業組

合による繭クラフトの実演を行いました。

なお、京都新聞が、5.31（木）夕刊及び6.2（土）夕刊（写真掲載）に記事を掲載してくれましたので、その新聞切り抜きを持って訪れる人もいました。

入場者数は、全日程を通じて500人程度です。

トピックス

この展示会を通して感じたままを、以下にトピックス的にご紹介させていただきます。

- 1 京都室町の和装小物専門問屋は、社員教育の場としてこの展示会を活用しました。また、社内研修に使いたいと当協会発行の「シルクの手引き書」を持っていた。

この社員教育の場としての展示会の利用は、京都産業会館で同時に商談会を行っていた和装専門問屋及び前売問屋も同様の社員教育の効果があるとのことで、



繭クラフトの実演



華やかな展示会場

商談会を担当していた社員の方には入れ替わり訪れて顶けました。

その内容としては、

①普段お付き合いのない業者の多様な製品、しかもかなりの品質水準を持ったものを一堂に見られるメリットがあること

②会場で展示絹製品の個々の説明が受けられること

③繰糸の実演、蚕の実際の飼育展示等が川下の担当者としては新鮮な体験であったこと
等々が考えられます。

2 伝統工芸士の方（女性染織作家）が、シルクスーツを仕立てるための広幅（72 cm巾）の白生地を入手できないかとの相談があり、早速、織物工場を紹介しました。

3 呉服専門店（埼玉県所沢市）の方からは、「きものの催事販売時に、ここに展

示してある座繰器、養蚕用具及びパネル等を貸し出してもらえないか、また実演や絹についての説明を出前で行ってくれないか。」との要望がありました。

4 たまたま、幼稚園の男子先生の卵たちが来ており、「幼稚園の子供たちに座繰りの面白さを体験させたい。」との感想が寄せられました。

5 きものコンサルタントの女性は、「座繰りが面白い。これをフェイスブック、きものプラザの情報発信の一部としてインターネットに載せて紹介したい。」と言ってられました。

6 来場者の中には、「初めて蚕を見た。どうやって飼うのか。また、人工飼料はどのような組成で作られているのか教えて欲しい。」との質問が寄せられました。

7 その他として、この展示会の後で商談



座繰器の仕組みを説明



蚕のライフサイクル（パネル）と併せ
5 齢の蚕の実物を展示

にまで至ったケースもあると聞いております。

今後の方向

当展示会の開催を通じて、反省や今後の対応について考えてみますと、

1 当展示会を通じて、絹業界と消費者に対して、「純国産絹マークは、純国産絹製品に添付されている」こと、「蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業」の存在について大いにアピールできたと考えています。

2 呉服専門店、前売問屋等からの意見として、「蚕の飼育、繰糸について具体的にみることで良かった」との声が多くありました。

これは、川下（消費者を含む。）の方々に対しては、蚕の飼育展示、繰糸の実演等の実際の生の展示の方がアピール度が高く、機会ある毎にこれを展示・実演していく価値のあることが改めて分かりました。

3 今回の展示は、絹製品の美術館であるという評価を得ました。これは、問屋の個々のビジネスグループの商談会の境界

を超え、多種多様な絹製品を展示できたことと、その展示品について生産履歴を含めた制作コンセプトを説明できたことにあると思われます。

これは、今後、純国産絹製品についての利害関係抜きの情報公開の場として育つようにも思えます。また、4年間展示会を開催してきて、言い古されたことではありますが、「継続は力なり」と言う言葉を再認識させられました。

4 今年の出展者は、24 者でありましたが、21 年度 18 者、22 年度 19 者、23 年度 20 者と参加出展者は、年々増加してきています。今年の増減の内訳を見ますと、昨年と比べると 7 者の増、3 者の減であり、これは、純国産絹製品に力を入れていく者がある一方で、純国産絹製品から離れていく者もいることを示しています。

来年度以降の展示会の開催は、未定（場所、時期、趣旨）ですが、展示会の開催を継続していくことは必要であり、改めて今回の展示会参加者の助言、意見も踏まえて今後検討していく必要があると考えております。

出展各社の展示等絹製品とその特徴

出展者名	展示絹製品	絹製品の特徴
荒川（株）	帯締	群馬の繭（ぐんま 200）で群馬県伝統工芸士の技術で作った帯締。コシと嵩高性有り。
（株）伊と幸	着尺（一方付絵羽、松岡姫・又昔色無地）	蚕品種（「松岡姫」、「上州絹星」）の繭から繰糸（器械、座繰り）した生糸を用いた製品。光沢、着心地が良い。
（株）岩田	袋帯	蚕品種「あけぼの」の繭から多条生繰りした生糸で西陣で培われた工芸技術を生かした絹製品。
（株）小倉商店	結城紬（着尺地、帯地）	蚕品種「朝・日×東・海」の繭から真綿を作り、手繰糸を用いて地機で緋にした独自製品。
織匠万勝	袋帯、先染着尺	群馬の繭から繰糸した生糸を用い、西陣織が持つ高度な技術の融合による、おしゃれ帯ときもの。
（株）甲斐絹座	スカーフ、ネクタイ	山梨の繭で玉虫甲斐絹を用いたスカーフとシャンブレイ効果の高いネクタイ。
（株）加藤萬	白衿、帯揚	発色性に優れた「ぐんま 200」を用い、加藤萬の工芸技術を駆使した帯揚。
（株）銀座もとじ	九寸帯、江戸小紋	蚕品種「ブラチナボーイ」の繭・生糸を用いたおしゃれを迫したきものと帯。
（株）高島屋	振袖（誰が袖好み）	栃木の優良繭を丁寧に繰糸した生糸を用い、光沢のあるシワになりにくい絹製品。
田中種（株）	後染着尺（小紋）、名古屋帯	極型模様風小紋、江戸小紋、加賀友禅。織と染めにこだわったおしゃれな着尺と帯。
（株）千總	振袖、訪問着、留袖、友禅着尺、色無地	徹底した飼育管理による優良繭から繰糸した生糸。これで織り上げたちりめん、老舗ならではの絵柄に京友禅の技術を駆使した製品。
富岡シルクブランド協議会	Tomiooka silk ネクタイ	世界遺産の登録をめざし、地元繭の細織度蚕品種（富岡小町）で作ったブランドネクタイ。
長島繊維（株）	訪問着、小紋、付下	東京多摩地区の繭。生繰り糸のため白度が高く光沢があり、シワになりにくい製品。
西陣織工業組合	マフラー、繭クラフト	ふい絹、紡ぎ糸を使用した伝統の手織りのマフラー。繭によるマスコット、アクセサリー細工。
（株）西陣まいづる	袋帯（典賀）、袋帯（春妃）	群馬の繭・生糸を用い、金銀糸を取り入れた西陣織の伝統的技術を駆使した華やかな帯。
日本蚕糸絹業開発協同組合	紋付地、白生地、胴裏地、長襦袢地	群馬の多様な蚕品種（新小石丸、世紀× 21、ぐんま黄金、ぐんま 200、上州絹星）の繭・生糸を用い、多彩な加工技術にこだわった製品。
（株）平田組紐	帯締（冠無地）、帯締（綾竹中藤）	「ぐんま 200」の特徴を生かしたコシのある風合いと美しい染色、しなやかな締め心地の帯締。
（株）丸万中尾	江戸小紋、留袖	長野・群馬の繭での老舗のこだわりの製品（江戸小紋、変一越留袖）。
宮井（株）	ふろしき、（本藍絞り）	岩手県の繭を使い、加工の付加価値をより高めるため、本藍を使用した絞りの風呂敷。
宮階織物（株）	笹絹織訪問着	田村・須賀川の優良な繭で繰糸した生糸を用い、西陣の御召の伝統的技術を駆使した製品。
（有）ミラノリブ	スカーフ、ストール、タイ、サマーマント	群馬の「ぐんま 200」を用いたシルクニット製品。繭を染め、色々な色の繭を順次上州座繰で繰糸した糸を用いて、虹色の輝きを持つ製品。
（株）やまと	袋帯	金銀糸を用いて西陣織の技術を駆使し、改良した織機で紋つづれ帯を制作。染色性に優れたふっくらとした帯。
（株）龍工房	帯締	群馬の繭を生繰りする。光沢があり、しなやかで、伸縮性がある。伝統的工芸品指定品。
奄美島絹推進協議会	琉球多蚕繭純、（着尺、袋帯）	純（あしぎぬ）と芭蕉を用いて奄美の緋の技法を駆使した着尺と帯。 (参考出品)

平成 24 年度第 1 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

—新規使用許諾 2 者、新規製品 3 品目に使用許諾—

社団法人 日本絹業協会

純国産絹マークの平成 24 年度第 1 次審査会を平成 24 年 5 月 25 日（金）に開催し、今回、13 者（うち、新規使用許諾申請が 2 者で新規製品が 3 品目、使用許諾されている者の製品の追加が 7 品目、生産数量の追加が 21 品目）から申請があり、審査委員会で審査した結果、全 13 者に対し 5 月 31 日（木）付けで純国産絹マークの使用許諾をいたしました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
株式会社マルシバ 代表者名：木下幸太郎 (担当者：野口俊二) 東京都中央区日本橋人形町 3-5-4 Tel 03-3662-2431 表示者登録番号 160	裏絹（胴裏）	50 枚	蚕品種 白繭細 1 号 繭生産 JA 上伊那・JA みなみ 信州管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 (株)東野東吉織物
株式会社みつわ 代表者名：田仲雅博 (担当者：田仲雅博) 大阪府大東市赤井 1-4-3 Tel 072-873-3139 表示者登録番号 161	後染反物（小紋） (変一越) (紋意匠)	5 反 5 反	制作企画 田中種（株） 繭生産 JA 碓氷安中管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 南久ちりめん(株)、芝井(株) 染色 高田勝(株)
(製品の追加) 株式会社甲斐絹座 代表者名：前田市郎 (担当者：前田市郎) 山梨県富士吉田市下吉田 2-25-24 Tel 0555-23-2280 表示者登録番号 149	ストール パジャマ トランクス	1000 枚 200 着 500 枚	蚕品種 春嶺×鐘月、錦秋×鐘和 繭生産 山梨県内養蚕農家 製糸 松沢製糸所 染色 (有)石森染色 製織 自社 加工 自社
(製品の追加) 株式会社鶴屋百貨店 代表者名：久我彰登 (担当者：平川秀夫) 熊本市中央区手取本町 6-1 Tel 096-356-2111 表示者登録番号 116	先染反物 (結城紬)	2 反	制作企画 日本蚕糸絹業開発(協) 繭生産 有水健喜（熊本県下益城郡 美里町） 手紬糸生産 (株)小倉商店 染織 (株)小倉商店
(製品の追加) 株式会社牛島屋 代表者名：武内保衛 (担当者：武内保衛) 富山県富山市中央通り 1-6-9 Tel 076-420-3450 表示者登録番号 82	後染反物（小紋） (変一越) (紋意匠)	50 反 50 反	制作企画 田中種(株) 繭生産 JA 碓氷安中・JA につたみどり 管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 南久ちりめん(株)、芝井(株) 染色 高田勝(株)
(製品の追加) 株式会社西陣まいづる 代表者名：舞鶴一雄 (担当者：舞鶴一雄) 京都市上京区五辻通大宮西入五辻町 39 Tel 075-441-0001 表示者登録番号 112	帯地 (紹九寸帯) (金銀糸 5 %を 超えるもの)	40 本	繭生産 群馬県安中市養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 撚糸加工 丸八生糸(株) 製織 自社 販売 青山きもの学院

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(生産数量の追加) 株式会社ふじや 代表者名：大庭廣信 (担当者：大庭廣信) 福岡県朝倉市甘木 944 Tel 0946-22-2358 表示者登録番号 157	後染反物 (小紋) (変一越)	2 反	制作企画 田中種(株) 繭生産 JA 碓氷安中管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 南久ちりめん(株) 染色 高田勝(株)
(生産数量の追加) 日本蚕糸絹業開発協同組合 代表者名：小林幸夫 (担当者：土井芳文) 群馬県高崎市問屋町 3-5-3 Tel 027-361-2377 表示者登録番号 021	裏絹 (トルマリン加工) (灰汁浸け加工)	1,700 枚 3,300 枚	制作企画 絹小沢(株) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 丸進機業(株) 精練加工 (有)江島屋染工場
(生産数量の追加) 株式会社まるため 代表者名：小池正司 (担当者：小池正司) 長野県長野市南千歳 1-3-5 Tel 026-227-5291 表示者登録番号 078	裏絹 (トルマリン加工)	300 枚	制作企画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 丸進機業(株) 精練加工 (有)江島屋染工場
(生産数量の追加) 長島繊維株式会社 代表者名：長島秀武 (担当者：長島誠) 栃木県足利市旭町 852 Tel 0284-41-7381 表示者登録番号 122	後染反物 (着尺地)	31 枚	蚕品種 錦秋×鐘和、春嶺×鐘月 繭生産 東京都多摩地区養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 河芳織物(有) 染色 自社
(生産数量の追加) 株式会社小倉商店 代表者名：小倉敏行 (担当者：小倉進吾) 茨城県結城市大字結城 116 Tel 0296-32-2121 表示者登録番号 041	先染着尺 (結城紬) 先染帯地 (結城紬)	85 枚 20 本	蚕品種 朝・日×東・海 繭生産 JA 伊達みらい管内養蚕農家 真綿生産 (有)関根商店 手紬糸生産 自社 染織 自社
(生産数量の追加) 株式会社銀座もとじ 代表者名：泉二弘明 (担当者：青江良和) 東京都中央区銀座 4-8-12 Tel 03-5524-3222 表示者登録番号 011	白生地 (着尺地) (長襦袢地) (帯地)	20 反 20 反 20 反	蚕品種 プラチナボーイ 繭生産 千葉県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 江口機業(株)
	白生地 (着尺地)	20 反	蚕品種 プラチナボーイ 繭生産 茨城県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 田勇機業(株)
	先染着尺 (大島紬)	30 反	蚕品種 プラチナボーイ 繭生産 茨城県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 (有)益田織物
	先染着尺 (染織作家物) 先染帯地 (染織作家物)	4 反 6 本	蚕品種 プラチナボーイ 繭生産 茨城県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 からん工房 深石美穂

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(生産数量の追加) 株式会社千總 代表者名：仲田保司 (担当者：俵武司) 京都市中京区三条通烏丸西入御倉町 80 Tel 075-211-2531 表示者登録番号 001	後染反物 (振袖)	80 枚	繭生産 青森県・岩手県内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 (株)松浦絹織 染色 自社
	(振袖)	190 枚	繭生産 青森県・岩手県内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 (株)竹林 染色 自社
	(色無地)	50 枚	繭生産 青森県・岩手県内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 美雲織物(株) 染色 自社
	(振袖)	80 枚	繭生産 岩手県内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 美雲織物(株) 染色 自社
	(振袖)	150 枚	繭生産 岩手県内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 (株)松浦絹織 染色 自社
	(訪問着)	100 枚	繭生産 岩手県内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 加賀グンゼ(株) 染色 自社
	(振袖)	90 枚	繭生産 岩手県内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 美雲織物(株) 染色 自社

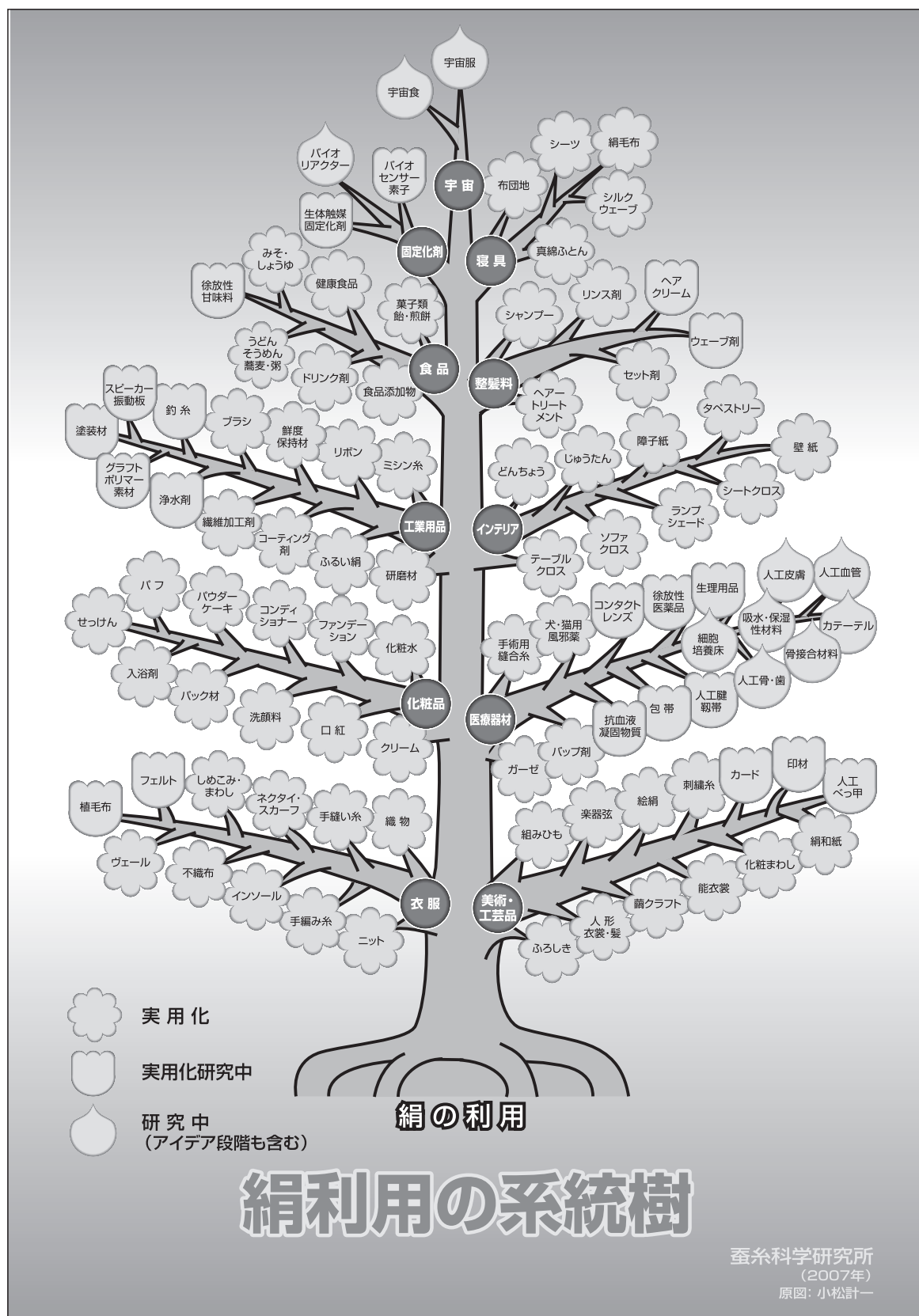
提携・支援センター活動日誌 No. 25 (H24.5.1 ~ H24.6.30)

年月日	活 動 内 容 等
24.5.9	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る養蚕資材の安定供給等の打合せ（東京都）
24.5.16	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る養蚕資材の安定供給体制等の打合せ（群馬県）
24.5.25	(社)日本絹業協会による純国産絹マーク審査委員会（東京都有楽町 蚕糸会館）
24.6.14 ~ 24.6.15	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る養蚕資材の安定供給等の打合せ（岐阜県、愛知県）



ジャパンシルクセンターの純国産絹製品コーナー

絹にはこんなにいろいろな使い道があります。



蚕糸科学研究所
 (2007年)
 原図: 小松計一

「皇后陛下喜寿記念特別展」を見て

吉 國 隆

(社団法人 日本絹業協会 顧問)

皇居三の丸尚蔵館で3月から4月にかけて開かれた皇后陛下喜寿記念の「紅葉山御養蚕所と正倉院裂復元のその後」と題する特別展を見て、皇后陛下の偉大なご功績にあらためて感動を受けた。

春の寒気が居座り、桜の開花も遅れていた中であつたにもかかわらず、展覧会は平日でも大変な人出で賑わっていた。全国の養蚕や絹・きもの関係者も多数展覧会を訪れたと聞いている。

皇后陛下が情熱をもって養蚕に取り組んでこられたことは、関係者によく知られていることであり、そのお姿を写した写真が全国の養蚕地域に飾られていて、今や少数派となってきた養蚕農家の心の支えになっている。

宮中の公式行事としての掃立てや納めの行事だけでなく、蚕期を通じて20数回も実際の作業に携わられ、蚕をいつくしみ、その桑を食べる音を楽しまれ、大きな山繭の虫も平気で手に取って枝に戻されるといふ皇后陛下のお心意気は、養蚕農家ならずとも頭の下がる思いである。

また、ご養蚕の過程で伝統技術を大切に

されていることは、わが国の在来品種である小石丸の飼育を一貫して守り通してこられたこと、毎年薫族を必ずご自身の手で作られ利用しておられることなどに表れている。一般ではほとんど飼育されなくなった小石丸の種を確保するため、皇居の中で蛾の交尾産卵をさせ世代交代を続けていく作業にも自ら携わっていらっしゃるという。

そして、平成6年以降、正倉院宝物など貴重な文化財たる織物の修復に欠かせないものとして小石丸の糸を下賜されることとなつてからは、日本の絹文化を守るご活動の一環としての新しい意味づけがご養蚕に加わつたといえる。

それ以降皇后陛下は小石丸の増産に取り組まれたほか、その繭の繰糸の面でも、本来の風合いを活かすための生挽きを大切にされてきた。碓氷製糸や最近では蚕糸科学研究所で繰糸のお手伝いをしているが、皇后陛下は、天皇陛下ともどもその繰糸の現場までお出ましになり見学されたほどのご熱意の示しようであつた。

絹は、そのあらゆる生産工程を通じて伝統技術が結集されており、また、製品も色

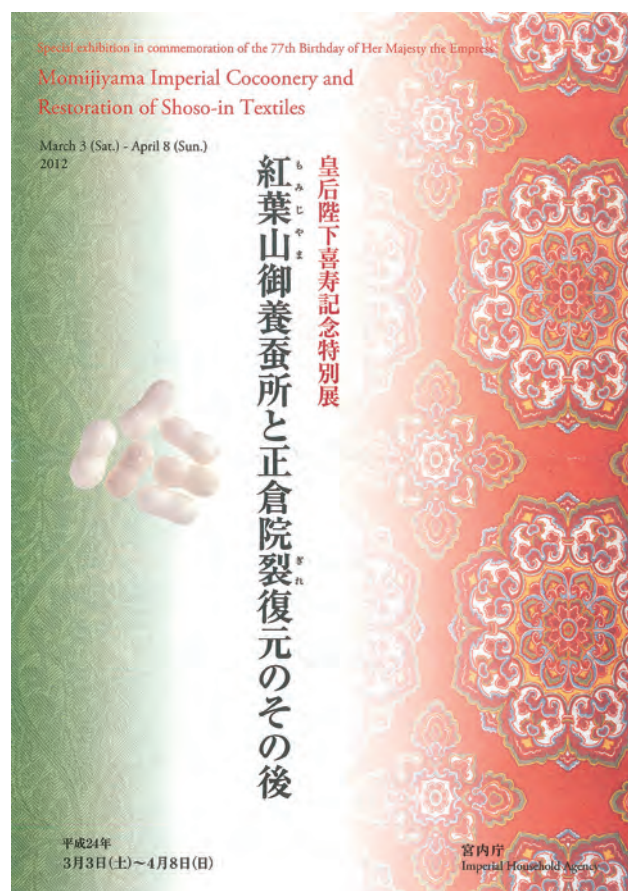
濃く芸術性を備えているという意味で、まさに「文化」の一部であるといえる。皇后陛下のご活動は、養蚕段階から織物修復事業までの全体を通じて、まさしく「絹文化」を大切にし、これを保全するという精神に貫かれている。

わが国の養蚕製糸から絹製品作りに至る諸産業においては、長年分業原理が支配的であったが、近年漸くタテに連携して伝統文化を重視したモノづくりを目指す動きが出てきたことは喜ばしい。

これには、コストの安い外国産品に押される中で、文化的価値を要素とした差別化商品を作って対抗しようとするのが背景にあるが、皇后陛下のご養蚕が絹の文化遺産に直結したという出来事がそのような連携の機運醸成に役立ったと筆者は考えている。

平成 12、3 年頃であったと記憶するが、京都のあるきものメーカーが、山形の養蚕農家と契約生産をして小石丸生糸によるきものづくりを始め、皇后陛下の作られている繭と同じ品種の糸との呼び声で一躍注目を浴びることがあった。これに引き続いて、「又昔」など日本の伝統蚕品種をはじめ「改良あけぼの」、「いろどり」、「プラチナボーイ」など特徴ある蚕品種とこれを活かしたもののづくりが次々に生まれる時代に突入した。

この流れの延長線上において、近年大日本蚕糸会が中心となって進めている提携グループ支援事業により、国産繭による生糸を使った「純国産絹マーク」製品づくりを



目指す関係事業者の提携グループの結成が進み、今後のわが国蚕糸絹業の有力な存立基盤が形成されつつあることは誠に心強い限りである。

明治以降の日本の経済発展を支えた養蚕の振興のために歴代の皇后が一役買われたのが皇居での養蚕の意義であったとするならば、美智子皇后は、その歴史に、現下の絹産業の歩むべき新しい道を示唆する偉大な 1 ページを加えられたといえよう。

天皇陛下も生物を慈しまれるお心で養蚕を見守っていらっしゃるという聞いており、今後とも両陛下がご壮健で、日本の養蚕及び絹産業に勇気と希望を与え続けて下さるよう祈るものである。

〔第1回〕

色繭を生産する蚕品種

(財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
所 長 井 上 元

蚕糸絹業の連携による多数の提携グループが確立されて、活発に純国産絹による優れた製品づくりが行われています。財団法人大日本蚕糸会の蚕業技術研究所は、これらの活動を支援するべく、付加価値のある「特徴ある蚕品種」の開発に精力的に取り組んで来ております。また、シルク工房の方々の要請を受けて、明治時代に飼育されていた小石丸などの在来蚕品種を現代化した蚕品種なども作出しております。

さらに、“昔の着物は良かった”との声に応えて昭和初期の品種を復元してみた経験から、糸が丈夫で生糸量もそれなりにある繭素材が、昭和20年代と30年代初期に育成された中にあると想定され、その頃に育成された名品種（普通蚕品種）を復元し利用することにも挑戦しております。

今回、蚕業技術研究所が開発したそれらの蚕品種を、シリーズで紹介することといたします。

レモン色の繭を生産する緑繭1号



図1 左側が大造の繭で、右側が緑繭1号の繭。
上段は可視光観察で、下段は紫外光観察

日本では昔から白い繭が好まれていますが、レモン色の繭や黄色の繭も少数ですが生産されています。レモン色はフラボノイドという色素によって作り出されていま



図2 いろいろな繭を紫外光観察装置で調査する
服部芳和氏（中央）

す。フラボノイド色素に関係する遺伝子がいくつかあって、その遺伝子の種類によって、レモン色の繭は学問的に緑繭（りよくけん）と笹繭（ささまゆ）に分類されているのです。これが、鮮やかなレモン色の繭を生産する蚕品種を緑繭1号と名づけた理由です。この品種は提携グループ167によって採用され、代表の織道楽塩野屋さんが都浅黄（みやこあさぎ）とブランド名をつけておられます。

塩野屋の服部芳和さんがこの品種に魅了されたのは平成19年2月でした。蚕業技術研究所に来られて、可視光と紫外光での色具合を観察して、採用を決められました。その後、平尾銀蔵氏が繭のセリシンを調べ、御召に向いた糸質と評価していますので、本シボ柳条縮緬を主製品とする塩野屋さんに適する品種と言えます。

この繭の鮮やかなレモン色はどこからきたのでしょうか？

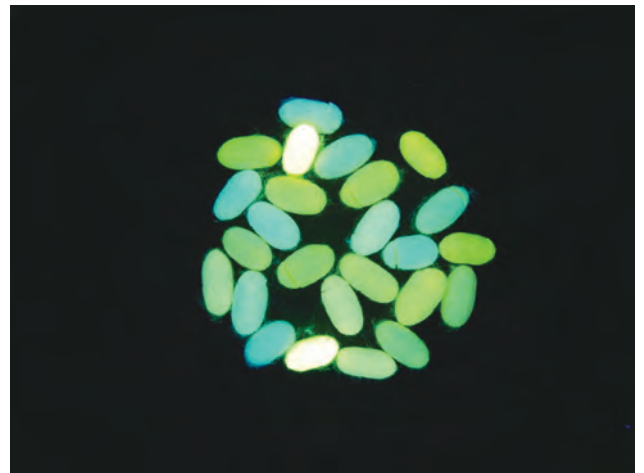


図3 紫外光で観察した選抜前の原種の繭。緑色が濃いほどフラボノイドの含有量が多い

大造（だいぞう）と呼ばれる蚕が遺伝資源として保存されています。重さが1.26g程度で、糸が352m程度の小さくて薄くて紡錘形をしたレモン色の繭をつくります。この繭のレモン色がもとになっています。

大造の繭は小さいので、そのままでは実用に使用できません。そこで繭を大きくするために、まず大造に、研究所が保持している繭が大きい原種の日本種と中国種を交雑し、2種類の交雑系統を作出しました。

そして、それぞれの後代に、原種の日本種または中国種を何回も交雑して、繭を大きくしていきました。ここで用いられたのが蛾区選抜法と個体選抜法でありまして、7年間ほどかかりました。この過程では繭の色は不揃いです。そして、8年目に、不揃いのレモン色を揃えるように努めました。その際に役立ったのが、紫外光で観察する装置です。不揃いの状態の繭にはいろいろな色調がありますが、濃い緑色がフラ

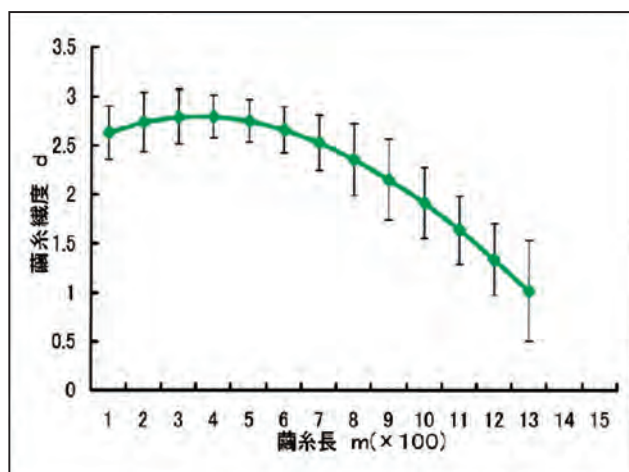


図4 繭糸の織度曲線

ボノイドを多く含んでいる繭です。この装置を使うと、肉眼では分かりにくい微妙な色の違いも識別できました。

この濃い色繭に揃えて選抜されたのが原種A（日本種）と原種B（中国種）です。このAとBを交雑したのが緑繭1号の蚕となります。すなわち、二元交雑蚕品種です。繭の重さは、1.76g程度で、糸の長さが1,069 m程度、糸の太さは平均で2.13デニール程度です。その糸の太さの変化は

図4のような曲線を描きます。

塩野屋さんは、この糸の特徴を活かすために平尾銀蔵氏が開発した新しい中性還元精練法を導入して、それによる帯地を製作されています。また、いろいろな健康グッズも製作しており、リピーターに好評のようです。

農家での飼育が始まってから、少し困ったことがでてきました。蚕が繭をつくるために回転簇に入った後で、蚕の尿で繭の表面が少し汚れることがあったのです。多分、なかなか繭をつくらない蚕が尿をしながらうろうろしていると想像されます。

幸い、製糸段階では何も問題にならないのですが、この現象がいつも生じるということではないので、原因の解析が難しいのです。

近年、春の低温や夏の猛暑、晩秋の高温など、異常気象が続いています。繭をつくる際の温度や光条件などの環境が、蚕の行動に影響していると考えられます。



図5 中性精練法が採用された帯地



図6 いろいろな健康グッズ

繭工芸に活用できる色繭とシルクシートの簡便な作り方

群馬県立 日本絹の里

町田 順一

「日本絹の里」は、蚕糸及び絹に関する県民の理解を深めるために蚕糸絹業に係わる情報発信の拠点として、平成10年4月に高崎市金古町に開館し、平成24年度で15年目を迎えます。

入館者数は、ここ数年では年間3万人を超える状況です。具体的には養蚕、製糸、絹織物の歴史や技術及び実物を展示。蚕糸・絹に関する新技術や新素材・新製品の特別展示。企画展示としては絹衣裳、ちりめんの古裂及び着物の古布等を用いた創作人形展など年間で9回程の企画展を開催し、集客力を高めています。今年もリニューアル展示を行うと共に新たな展示の企画も計画しております。

さらに、展示会とは別に、蚕や絹に対する消費者の理解を醸成するために蚕の飼育、座繰り、繭クラフト、染め、織りなどの幅広い体験学習を常時実施しており、参加者には好評を得ています。

この体験学習でも年間8千人の利用者がおり、特に、継続的に取り組んでいるリピ

ーターも多くみられ、卓越した技術で優れた作品が作られています。

この体験学習をより活用していただくために、日本絹の里では、体験学習で得た作品の成果を発表する場として、数年前から、繭クラフト展や染め、織りなどの作品を展示する工芸作品展を開催しています。

両展示会とも年々優れた作品を目指す気運が高まり、そのためか、作品材料となる繭にこだわり、繭層すべてがきれいに染まった色繭が望まれたり、シート状のシルクなどが求められたりしています。

また、夏休みに蚕を配布して育ててもらう教育関連行事の中でも、カラフルな色繭を作りたいとの質問が多く寄せられます。

そこで、日本絹の里では、色繭やシルクシート等の作り方について、簡便にできる方法について解説・指導を始めています。

今回はその概要について紹介します。

1. 繭層内すべて色鮮やかな色繭の作り方

色繭は繭クラフトおよび繭工芸作品には

欠かせない材料です。一般的な色繭は繭を染料で染めたものが使用されています。この方法では繭の表面は染まるものの繭層内が全て一色の鮮やかな色繭はできません。

そこで、繭層内全て濃淡のない鮮やかな色繭を作る方法を紹介します。

その方法は、蚕の飼料である、人工飼料に染料を混入させ、これを蚕に食べさせて色繭を作る方法です。

(1) 染料と繭の着色性

色繭づくりに用いる染料としては、手芸店で販売している林屋ファイングッズ製（商品名：コールドアイホット）繊維用染料が色繭作りには効果的です（小売店で20g入り420円程度です）。

図1に示したように、濃淡のない均一な着色の色繭が得られます。

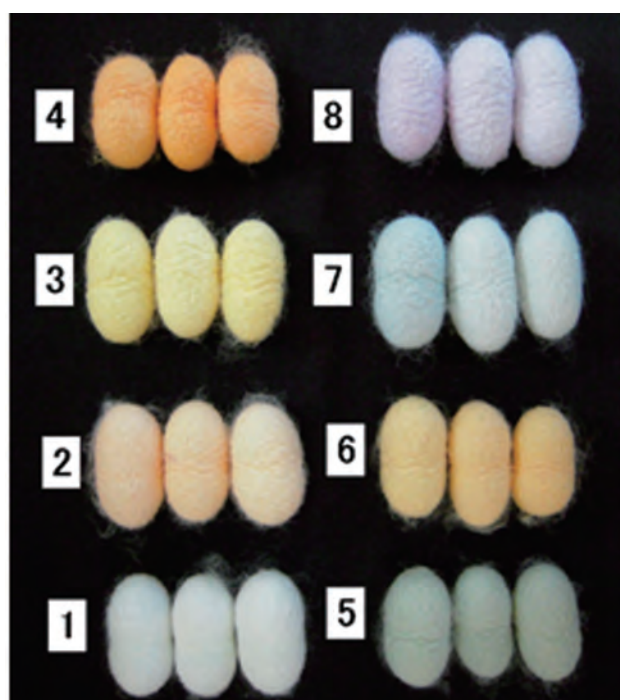


図1 染料と繭の着色性（供試蚕：世紀二）
染料 1: 無添加 2: ローズピンク 3: ゴールド 4: レッド 5: ネイビーブルー 6: ブラック 7: ブルー 8: パープル

表1 染料と繭の着色性（供試蚕：世紀二）

染料名	繭の着色性（色）
ローズピンク	ベージュ
ゴールド	黄
レッド	橙
ネイビーブルー	薄い緑黄
エメラルドグリーン	極薄い青
ブリリアンブルー	薄い青（水色）
グレー	緑黄
カーディナルルージュ	黄
オーキッドブロン	鮮明な黄
スプリンググリーン	薄い黄
ブラック	薄い緑
パープル	薄い紫
ブルー	薄い青



図2 蚕品種別の染料と繭の着色性
染料 A: 食紅+パープル B: パープル C: グレー D: ブリリアンブルー

繭層内部の着色確認においても、どの染料でも繭表面と同じ着色がみられました。

コールダイホット染料は、表1で示したように染料の色名と繭の着色では一致しないものも多く見受けられます。また、染料によっては繭に着色が見られないものもあります。試してから使用する必要があります。

蚕品種別の染料と繭の着色性の関係では(図2)、元来色繭蚕品種である「新青白」、「ぐんま黄金」は、変化に富んだ着色がみられ、色繭蚕品種を使うことによって、さらに色繭の選択肢が増加します。

(2) 染料混入飼料の作り方と飼育方法

染料混入飼料の準備は、蚕10頭当たり約100gを用意します。染料混入飼料の作り方は(図3)、市販の人工飼料100gに対して染料1gを使用します。

ポリ袋の中に秤量した飼料と染料を入れて、袋の外から手で練り合わせて均一に

混合・整形します。整形した飼料は給餌で使用の時以外は冷蔵庫に保管しておきます。表2に染料混入飼料の飼育方法を示しました。染料混入飼料は5齢5日目から上簇まで与えるのが効果的です、6日目以降では若干着色効果が劣ります。飼育取り扱いとは従来の人工飼料育と変わらないので飼育温度25℃を目標に飼育します。

表2 染料混入飼料の飼育方法
(給餌量は蚕10頭当たり)

日 順	給餌量	作業
5 齢 5 日目	60 g	給餌
6 日目	—	除沙
7 日目	40 g	除沙・給餌
8～9 日目	—	上簇

染料混入飼料の餌の与え方は、整形した飼料を手でしっかりとにぎり固めてから、蚕に与えます(図4)。そのときには素手で餌に触れないように使い捨てポリ手袋を使用します。



図3 人工飼料と染料の混合・整形手順

2. シルクシートの作り方

シルクシートを作る方法は、熟蚕になっ



図4 染料混入飼料の給餌

た蚕を平板の上に載せて、蚕に平面吐糸させて作る方法と繭毛羽を平面に拡げて、スポイトなどで水を若干含ませた後に、綿布で覆い、電気アイロン（高めの温度設定）を当てて作る二通りの方法があります。

（１）蚕に平面吐糸させて作るシルクシート（平面繭）の作り方

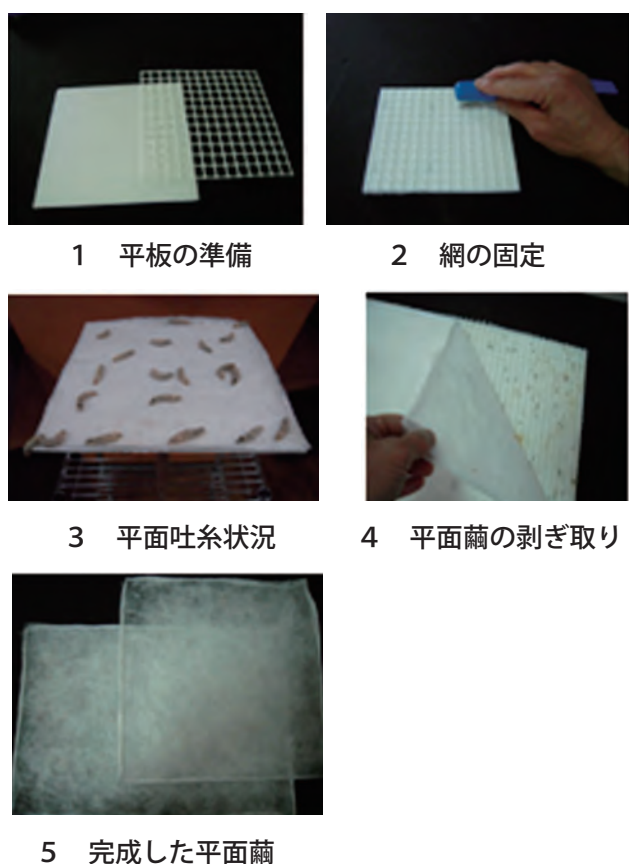


図5 平面繭の作製手順

平面繭作りに用いる蚕は熟蚕を使用します。なるべく排尿を済ませた過熟蚕が適しています。

平面吐糸させる平板の作り方は（図5）、発砲スチロール製ボードを用い、吐糸面には、蚕が吐糸行動し易いように1cm²目のトリカルネットの網を載せます。網はズレ

落ちたり、捲れたりしないようにホッチキス針を打ち込み、固定します。

平板に吐糸させる蚕の頭数と平板の面積の関係は、目標とするシートの厚さによって異なります。図5に示した平面繭の厚さであれば30×30cmの平板に熟蚕を30～40頭程度用います。

蚕の吐糸は3日間程度で完了するので、吐糸を終了した蚕は平板から取り除きます。

平面繭を作る時の注意点ですが、

①発育の揃った蚕を用いることが重要です。とくに吐糸の開始時期が同じ蚕を使うようにする。

②平板の置き方ですが、平板の縁から蚕が他に移れないように上下、左右に5～10cm程度空間をおくこと、また、平板から蚕が落下する場合があるので、こまめに観察して平板の上に戻します。

③より純白なシルクシートを作る場合には、熟蚕を一時、仮の平板に1日程度放置し、排尿を済ませた熟蚕を新たな平板に移してあげることで汚れのない、きれいな平面繭を作ることができます。

平面繭は、平板から剥ぎ取ったものをそのまま使用することも可能ですが、電気アイロン（高温）を当てると、堅めなシルクシートもできますので、用途によって使い分けてください。

（２）繭毛羽を利用したシルクシートの作り方

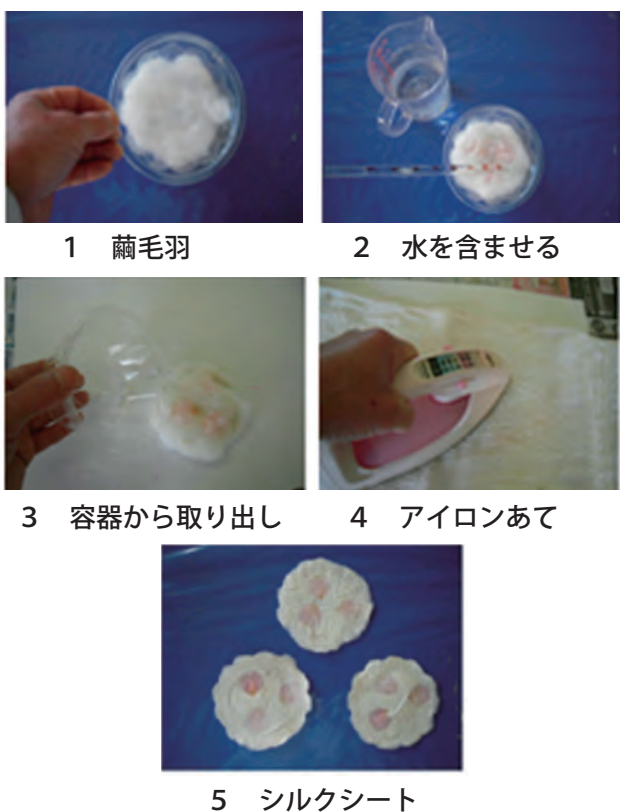


図6 繭毛羽を利用したシルクシート作り

作り方の手順を紹介します（図6）。

- ①繭毛羽を使用したい形の枠に敷き込みます。
- ②その上にスポイトで少量の水を加え、繭毛羽に水を含ませます。
- ③水を少量含んだ繭毛羽を新聞紙・上質紙などを数枚重ねた上に載せます。
- ④繭毛羽に布をあてがってから電気アイロン（高温）を当て、電気アイロンの熱で水分が概ね無くなればシルクシートは完成です。

一般の繭毛羽で、きれいなシルクシートを作るには、蚕の排尿による汚れと蚕糞さらには食べ残しの桑葉などが混入していることが多いので、丁寧に取り除いてから使

用することが重要です。

その点、製糸工場で購入できる繭毛羽は、汚れ等が少なく、きれいなシルクシートを作るには適しています。

以上、色繭、シルクシートの作り方について紹介しました。

日本絹の里では、色繭、シルクシート（平面繭）の作り方の解説・指導を行うとともに、絹の里のショップで、商品としてご提供できるように取組を始めました。

ショップの販売の中でも色繭は人気があるので、今回の色繭でさらに人気が高まることを期待しています。

シルクシートも無地のものからカラフルな色繭を活用したものまで、多岐にわたる販売を目指しています。



図7 シルクシート

参考資料

伊藤 寛：群馬県蚕業試験場報告第8号 2002、p11～18 桑葉への染料散布による色繭生産技術の開発
伊藤 寛：群馬県蚕糸技術センター年報 平成20年度、p40 稚蚕人工飼料「くわのはな」による簡易色繭生産

新装なった横浜の「シルク博物館」

(財)シルクセンター国際貿易観光会館

シルク博物館 館長 高桑 正敏

はじめに

横浜市中区にあるシルク博物館は、シルクにかかる専門的な施設として1959年(昭和34年)に開館したので、今年で53年目を迎えることになる。この間、開館10周年と同じく40周年の記念事業として大規模な展示改修事業を行ってきているが、前回の改装工事から10年以上が過ぎたこともあり、またこの間のニーズの変化への対応や照明器具等の設備機能の向上の必要性から、施設の全面的なリニューアルを行うこととした。

当初は2012年3月のオープンを構想していたが、2011年3月11日の東日本大震災によって事業実施を見合わせた関係で、実質的には半年ほど遅れた2011年9月からスタートすることになった。設計・施行についてはプロポーザル方式によって(株)丹青社に決定・委託し、2012年4月25日のオープンをめざした。

改装にあたっての基本的な考え

今回のリニューアルにあたっては、「シ

ルクの不思議と魅力の再発見」を基本コンセプトとし、これまでの展示構成を見直して次の3つの視点(出会い)に立って改装すべきイメージとした。

- ①「見る／感じる」絹染織作品等の鑑賞を通じて、シルクの＜美しさ＞に出会う。
- ②「ふれる／学ぶ」体験を通じて、蚕やシルクの＜不思議＞や＜魅力＞に出会う。
- ③「創る／楽しむ」ふれ合いや創作を通じて蚕やシルクの＜楽しさ＞に出会う。

ただし、予算の関係などから、展示室そのものの抜本的変更は行わず、また既設の展示ケースはそのまま使用することとした。

さらに、次の3つの課題を検討した。



新装なった展示室入口

- ①シルク博物館の役割・性格上、1) 学校教育に寄与するという科学館的な側面、2) 工芸美を紹介するという美術館的な側面、3) シルク産業を継承するという産業館的な側面があることから、これら3つの側面を明確化すること。
- ②今後の博物館のあり方として、実演・実験などの体験学習の重視、他団体などとのコラボレーションの強化、各種イベントの実施を念頭に置いたうえで、空間や動線を確保すること。
- ③博物館をアピールするため、ロゴの作成や統一的な色調の見直しを含め、効果的なサインの整備や楽しい空間づくりをめざすこと。

具体的な改装

以上の基本的な考え方をふまえ、ゾーニングとしては博物館の1階を学習コーナー（通称：ふしぎファーム）と産業コーナー（通称：しらべライブラリー）とに再編成し、2階は日本と世界の絹の紹介コーナー（通称：シルクのあゆみ）とした。



新しい展示の例

そのうえで、展示室の全体的な改装のポイントを次のように設定した。

- ①LED電球を採用することで省エネ化を図るとともに、天井やハイケース内の照明方法を変えることによって明るさを確保し、効果的なライティングとシューティングが行えること。
- ②床や壁面などの色調をそれぞれの展示ゾーンにふさわしいものとする。
- ③空間については、2階は既存のハイケースをそのまま利用したためにほとんど変更がないが、1階はほぼ全面的にゾーニングをリセットして新たに展示ゾーンを組み替え、入口からの見通しをよくするとともに、とくに学習コーナーを拡大した。

1階と2階とはまた、展示内容ばかりでなく、天井高や展示ケースも異なるため、デザインに工夫を凝らした。たとえば色調については、入口のある1階は床の色調とデザインでゾーニングと動線を図り、2階は床とケースの外壁面などを黒基調とした。また照明については、1階部分は個々に光量を変えることができる電球を多く配置する一方、2階部分は従来どおりケース内ごとに、また通路ごとに調光できるようにした。

キャラクターの作成と名称の公募

シルク博物館の今回の展示リニューアルを行うにあたり、当館のマスコットキャラクターを作成することにし、(株)丹青社を通じてキャラクターデザイナーに描画

を依頼した。できあがった作品は名称を小学生から公募することにし、横浜市内の各学校にお願いしたところ、全部で188件148種類の応募があった。内部で検討し、繭の形をしたキャラクターにふさわしい名前であること、子どもたちに分かりやすく可愛らしいこと、また「繭をつむぐ」といった動詞的な響きもあることなどが評価され、最終的に「まゆるん」を選ぶこととなった。

「まゆるん」は受付の案内板に描かれ、また動画展示の中での説明役として登場させたほか、新しくデザインしたリーフレットやワークシートにもマスコット役に用いられている。また、展示室入口におけるウェルカム用のマスコットとして、博物館スタッフが表面に真綿を配した「まゆるん」人形を作成した。高さが180cmにもなる大型の人形で、来館者には記念撮影用としても評判になっている。



記念撮影用としても評判の
「まゆるん」人形



特別展の様子

オープン記念の特別展

展示リニューアルオープンに合わせ、春の特別展を「美しい日本の絹 ユミカツラ ブライダルコレクション」とし、世界に知られるブライダルファッションデザイナーの桂由美さんと関係の方々の協力を得て行った。桂さんが手がけたウェディングドレスやイブニングドレス、ニューキモノなど70点近くに及ぶ作品が一堂に公開された。2階部分の全スペースに加え、1階のホールも使った大規模展示である。

桂さんは特別展の開催ばかりでなく、オープンセレモニーの記念日に合わせて2度も作品解説の講演会を開いてくださり、また何度も関係団体に合わせて来館していただいて、個々にお話をしてくださるとともに、気軽に記念撮影や握手に応じていただいた。

マスコミ各位の多くが本特別展を紹介してくれたこともあり、大勢の来館者でにぎわいをみせている。



ファンの方々と懇談する桂さん

オープンセレモニー

リニューアルオープンの4月25日には、桂由美さんや当館名誉館長マリ・クリスティーヌらによってテープカットセレモニーが執り行われた。関係者以外にも多くの方がセレモニーに参加くださり、大変にありがたいことであった。

テープカットセレモニーとは別に、4月29日にはシルク博物館の運営に対しご理解、ご支援をいただいている方々への感謝とともに、この度の改装の取り組みを今後の博物館の発展につなげるため、リニューアルを記念したセレモニーを開催することとした。あわせて、シルク博物館のマスコットキャラクターの名称の公募で選ばれた小学生のお子さんの表彰式も行った。このセレモニーの開催場所は特別展「美しい日本の絹 ユミカツラ ブライダルコレクション」として使用されているホールであり、華やかな雰囲気の下に行われた。

セレモニーでは、シルク博物館を運営している（財）シルクセンター国際貿易観光



テープカットセレモニー

会館会長からのあいさつのあと、神奈川県商工労働局、横浜市経済局、（財）大日本蚕糸会から祝辞をいただいた。さらに、改装工事に携わっていただいた（株）丹青社に感謝状をお渡しし、最後に当館名誉館長から「まゆるん」の提案者の表彰を行った。

ゴールデンウィークの最初の日曜日であるにもかかわらず、多くの参列者にお越しいただき、テープカットセレモニーのときと同様に、シルク博物館の職員にとっても大変に光栄なことであった。

新しい展示を通して

今回の展示リニューアルの目玉の1つが、学習コーナーにおける体験・参加型展示の充実である。ここでは従来に増して、まゆからの糸繰り、撚糸、真綿からの糸つむぎ、機織り、いろいろな糸や織物の違いなどが体験できる展示を多く取り入れた。展示としてばかりでなく、専門家の協力を得て、組みひもや手紬糸づくり、真綿からの太糸づくりなどの実演もこのゾーンで行

っている。来館者には大変に好評のようで、展示室内における来館者の動きを観察してみると、多くの方が何かしら体験されるか、見ているだけの人であってもこのゾーンでもっとも滞在時間が長い。小学生の団体のときでも、人気は学習コーナーに集中していて、とくに糸織りや機織りに群がる。こうした状況から、今回の展示改修は思惑どおりになったと言えるだろう。

ただ忘れてならないのは、博物館側スタッフの相応の体制の必要性である。体験型展示の場合、その扱いがわからない来館者には、スタッフが教える必要が生じるし、小学生の団体のときなどは、それこそ付きっ切りでないと收拾がつかなくなる。もちろん、機具の毎日の点検も欠かせないなど、

十分な対応が求められる。

新たな方向をめざして

シルク博物館の運営母体である（財）シルクセンター国際貿易観光会館は、2013年に一般財団化する予定である。財政的には今後ますますきびしくなることが予測されるが、生糸および絹製品に関する資料の収集、展示、普及啓発、調査など、与えられた使命を遂行するために一層の努力を続けたいと気持ちを新たにしている。

新装なったシルク博物館へ、ぜひ、多くの方々がお越しくださることを心待ちしたい。

（写真撮影、シルク博物館石鍋由美子学芸員）



リニューアルセレモニー

シルク遺産を訪ねて⑤

塩沢つむぎ記念館と鈴木牧之記念館

東京産業考古学会

副会長 平井 東 幸

J R 東日本・上越線塩沢駅（新潟県南魚沼市）から徒歩数分には、塩沢つむぎ記念館や鈴木牧之^{ぼくし}記念館がある。ともにシルク遺産等を保存展示していて、なかなか興味深い。

まず、塩沢つむぎ記念館だが、駅から2分、2階建の施設は、民間の南雲織物工場が兼営しているところがユニークである。南雲館主によると、ビジネスで使用していた織機、用具のほかに、先代が収集していた製品や文献類の一部を展示している。2階の「織工房」には、塩沢の織物が出来る

までの伝統的な工程が見学できるし、細幅織機9台のほか、明治初期の居座機、昭和45年製の糸繰機（ともに現役）等があって、実際に織りの体験もできる。1階には、物販コーナーがある。展示スペースには、織物見本帳（昭和20年代の編集とみられ、全国の織物産地の織見本）があるほか、越後上布や塩沢織の製造工程・・・伝統の麻織物苧麻（からむし）の栽培から織布までの産地の歴史を展示しており、産業文化財としても貴重である。

次に、鈴木牧之記念館だが、平成元年開

塩沢つむぎ記念館



同館の居座機



撮影：ともに筆者

鈴木牧之記念館



牧之通り



撮影：ともに筆者

館で（財）南魚沼市文化スポーツ公社が運営している公的な施設だ。鈴木牧之は江戸末期の郷土の偉人、代々、越後縮（現代の越後上布）の中買商を経営するかたわら、『北越雪譜』（岩波文庫にあり）などを執筆した。1階には牧之の著作のほか、江戸の文人と交流した史料が展示されている。2階の一部には、越後上布の製造工程を示す伝統的な用具などが数十点展示されている。管巻車、舞棒、伸台、糸繰り、糊付け用具、千切巻等・・・これらの用具類は、塩沢織物工業協同組合が収集保管していたが、同館オープンに際して寄託されたもの。

ところで、周知のように、塩沢・六日町地区は、新潟県の10大産地に数えられていたが、現在も9社（組合員数）が織物業を営んでいる。「この地域は、越後上布、塩沢織物で名高かく、とくに麻織物の越後上布は早くも昭和30年に国の重要無形文化財に指定された。さらに平成21年には

ユネスコ無形文化遺産に登録された。その技法を活用した絹織物は、大量生産方式ではない小規模の伝統的な織物産地だ」（塩沢織物工業協同組合）。それだけに、この地には貴重なシルク関連遺産が保存されてきていると言える。

なお、上記の鈴木牧之の『北越雪譜』には、地元の織物との関係で次の件は有名である。

「雪中の糸となし、雪中に織り、雪水にそそぐ、雪上に晒す 雪ありて縮あり されば 越後縮は雪と人と気力相半して名産の名あり 魚沼郡の雪は縮の親といふべし」

また、塩沢に行かれる際には、牧之通りを是非散策されることをお勧めしたい。旧三国街道を拡張して、長さ約350メートルにわたって宿場町が整備されている。ただ、これは当時の街道筋の復元ではなく、雁木^{がんぎ}

八丁撚糸



写真提供：塩沢織物工業協同組合

(木造のアーケード、雪対策)が設置され、色も黒に統一され、あたかも時代映画のセットのような錯覚を覚える程。このプロジェクトは地元商店会が中心となり、地域活性化のために平成15年から順次整備されて、平成22年度には国交省の「都市景観大賞」を受賞。この通りを經由して上記の塩沢つむぎ記念館、鈴木牧之記念館を20分程度で回遊できる。これらのシルク遺産が、文化財としてだけでなく観光資源としても商店街活性化、地域おこしに有効に活用されている好事例といえよう。

旧塩沢町は、戦後、織物業、農業、そしてスキーを3本柱に繁栄した。町内に散在する立派な住宅、庭園が今も往時を偲ばせている。上記のシルク遺産を今後も活用して行って頂きたい。貴重な文化財の保存も、その上手な活用がなくては、なかなか難しくなっている昨今、当塩沢地域の取組みを注目していきたいものである。

■塩沢つむぎ記念館（休館日：年末年始）

開館時間：9:00-17:00

所在地：新潟県南魚沼市塩沢 1227-14

Tel：025-782-4888

アクセス：JR 上越線・塩沢駅から徒歩2分

■鈴木牧之記念館（休館日：火曜）

開館時間：9:00-16:30

所在地：南魚沼市塩沢 1112-2

Tel：025-782-9860

アクセス：塩沢駅から徒歩10分

ひらい とうこう

東京産業考古学会 副会長

嘉悦大学 元教授

日本化学繊維協会元調査部長

国内産地情報

絹織物産地の概況（5月）

織物の生産は総じて減産傾向、
一部で下げ止まりも、採算は価格低迷で厳しい

<原糸>

中国の原料価格は、目先は大きな変動はないとの認識と、為替の動きが激しいこと、織物価格が厳しいことなどから原料手当は総じて慎重な対応となっている。在庫はおおむね適正な状態である。

<白生地>

- ・縮緬＝丹後の5月の生産は、前年比84%で、依然として厳しい状況にある。稼動日数は17日で前年より2日減である。
- ・長浜の生産は、前年比100%で稼動日数18日と前年より2日増であった。
- ・五泉は、生産反数が28%の増となった。
- ・福島は、受注減少により、生産、操業ともに若干落ちている。
- ・福井の生産は、広幅羽二重は前年比95%、小幅羽二重は78%であった。
- ・石川は、小口商いが続いており販売不振である。
- ・群馬・埼玉は、群馬は前年同、埼玉は前年比88%と伸び悩んだ。

<先染織物>

- ・帯＝西陣は、生産は一部を除き低迷、特に高額品は低調。売れ行きは、安価なものを中心に荷動きはよい。しかし、対応出来るメーカーは限られている。
- ・博多は、紋袋帯、男帯が増産し、全体では、9%増となった。夏用商品が動き出したようである。
- ・十日町は、売れ行きは振袖と訪問着が好調であった。生産は付下と振袖が前年を上回ったが、全体では前年の1%増であった。
- ・米沢は、呉服の生産は低調、在庫は少し増えてきている。服地は秋冬物の受注が始まり、今後に期待している。輸出物は稼働率が相当落ちてきている。採算は低調な商いで厳しい。
- ・山梨は、服地は高級物の売れ行きが悪く、生産も少ないままである。ネクタイは、一部に多少の動きはあるが生産量は少ない。採算はともに悪い。
- ・西陣のネクタイは、秋冬の発注が出始めたが店頭の状態を見ながらの慎重な動きとなっている。

（5/1～31の概要）

＊（社）日本生糸問屋協会「月報」24.6.13、第761号による。

海外シルク情報

中 国

最近の中国国内シルク需要

中国シルク産業は、これまで、基本的に輸出産業であったが、昨今、国民経済が急速に発展するにつれて、国内シルク需要は着実に増加傾向にあるようである。

経過からみると、2009 年よりシルク内需拡大政策が本格化することになり、国内シルクブランドやネット通販が登場し、現在、国内シルク需要はシルク需要全体の 30% を占めるに至っている。

最新統計によれば、本年第 1 四半期（1～3 月）での国内シルクの総販売額は 7.13 億元に達し、これは対前年比 5.4% 増を記録した。

これの内訳として、絹織物販売額は 1.4 億元（対前年比 19.4% 増）、同販売数量 0.11 億メートル（対前年比 2.9 倍増）であり、シルク服装の販売額は 0.82 億元（対前年比 23.4% 増）、同販売数量 23.7 万着（対前年比 10.4% 増）となり、これ以外の主なものは、最近急増して中国国内需要を牽引しているシルク布団等のインテリア関係製品である。

ちなみに、本年 1～3 月累計のシルク布団の生産数量は 375 万枚で対前年比 10.6% 増とのものであり、浙江省桐郷市を中心に約 1,000 工場余が稼働している。

最近の中国乾繭、副蚕糸及び生糸類の 現物価格の現状

中国繭絲綢交易市場（浙江省嘉江市）の 5 月 28 日発表による最近における中国各種乾繭、副蚕糸及び生糸類の現物価格を紹介する。

-
-
- ・乾繭：98 ～ 112 元/kg (1,274 ～ 1,456 円/kg)
 - ・玉繭（乾繭）：71 ～ 82 元/kg (923 ～ 1,066 円/kg)
 - ・キビソ：74 ～ 80 元/kg (962 ～ 1,040 円/kg)
 - ・ビス：57 ～ 67 元/kg (741 ～ 871 円/kg)
 - ・機械繰り生糸：(21 デニール、工場検査)：317 ～ 324 元/kg
(4,121 ～ 4,212 円/kg)
 - ・機械繰り生糸：(21 デニール、国家検驗局検査)：323 ～ 329 元/kg
(4,199 ～ 4,277 円/kg)
 - ・土糸：(110 デニール)：269 ～ 278 元/kg
(3,497 ～ 3,614 円/kg)
 - ・玉糸：(110 デニール)：291 ～ 294 元/kg
(3,783 ～ 3,822 円/kg)

中国の生糸価格は、昨秋発動された国家生糸買い上げ効果もあって、今春以降徐々に回復しつつあり、5月現在キロ当たり 320 元 (4,160 円) 台を維持し、1月時点より約 7 %アップし安定的に推移している。

なお、現在の日本向け生糸輸出価格はキロ当たり 54 ～ 55 ドルであり、一方、ブラジル生糸の日本向け輸出価格は最近値上げされ高格物でキロ当たり 60 ドルを超えている。

(注) 円換算は 1 元 = 13 円。

* (社) 日本生糸問屋協会「月報」24.5.14 第 760 号及び 24.6.13 第 761 号による。

イベント情報

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
OPIE INTERNATIONAL 発行 『「ふろしき」の 世界展』	展示内容 ・書籍「ふろしき」で展開された宮井コレクションの数々、掲載資料の中から、多彩な「ふろしき」の世界を展示。 ・オプションコース (ギャラリー展示解説・ふろしきDVD鑑賞・包み方体験) 追加 500 円【要予約】 TEL. 075-221-0381 ○『夏休み特別企画』 —布用の画材を使って 1 枚の風呂敷を制作— ・親子でつくろうマイふろしき 【要予約】 TEL. 075-221-0381 小学生～中学生まで対象 (親子で参加) 7 月 29 (日) / 8 月 4 (土) 13:30～15:30 料金 1000 円	平成 24 年 4 月 23 日 (月) ～ 8 月 10 日 (金) 午前 10:00～ 午後 5:00 (休館日: 土・日・祝) ・入館料 500 円 * セミナー等の都合により、見学をお断りする場合があります。	・開催場所 「宮井ふろしき・ 袱紗ギャラリー」 (宮井株式会社内) ・京都市中京区室町 通六角下ル鯉山町 5 1 0 番地 TEL. 075-221-0381 ・主催 宮井株式会社 ・協賛 日本風呂敷協会 ・協力 PIE INTERNATIONAL

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

平成 24 年 6 月 8 日現在

表示者登録番号	企 業 名	主な絹製品名
1	株式会社 千總	後染反物（訪問着、付下、色無地、振袖、喪服、黒留袖）、裏絹（胴裏）
2	株式会社 織匠田歌	先染反物、帯地（染帯）
3	有限会社 ミラノリブ	洋装品（婦人服（トップス、ボトム）、ソックス、ショール、ストール、スカーフ、ネクタイ、ニットタイ、ベスト）
4	株式会社 丸上	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、帯地（後染）
5	株式会社 坂本屋	後染反物（色無地）、裏絹（胴裏（灰汁浸け加工））
6	有限会社 平原	後染反物（色無地、黒紋付）
7	株式会社 信盛堂	後染反物（色無地、黒紋付）
8	株式会社 きものアイ	後染反物（色無地）
9	株式会社 上庵	後染反物（色無地、黒紋付）
10	有限会社 樹	後染反物（色無地、黒紋付）
11	株式会社 銀座もとじ	白生地、後染反物、先染反物（大島紬、結城紬、染織作家作品、御召）、八掛、和装小物（帯締、羽織紐）、帯地
12	河瀬満織物 株式会社	帯地（先染）
13	有限会社 織匠小平	帯地（先染）
15	株式会社 結華	後染反物（色無地、黒紋付）
16	株式会社 絹回廊	後染反物（色無地）
17	有限会社 琴路屋	後染反物（色無地、黒紋付）
18	有限会社 大善屋呉服店	後染反物（色無地、黒紋付）、帯地（後染）
19	丸善本店	後染反物（色無地、黒紋付）
20	呉服のささき	後染反物（色無地、黒紋付）
21	日本蚕糸絹業開発協同組合	白生地（世紀 21）、後染反物（作家もの、黒紋付）、裏絹（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200（灰汁浸加工、トルマリン加工）、五ツ星（ぐんま 200、よろこび、世紀 21））、八掛、比翼地）、長襦袢地、和装小物（襦袢）、寝衣（うぶ着、おくるみ）、帯地（（冬物・夏物）うるし糸金銀 5%を超えるもの）
22	宮階織物 株式会社	先染反物、後染反物
23	21 世紀の絹を考える会	後染反物（色無地、訪問着）、帯地（袋帯（草木染、唐織、先染））
24	碓氷製糸農業協同組合	白生地、洋装品（マフラー）
25	丸幸織物 有限会社	白生地
26	織匠万勝	帯地、先染反物、後染反物
27	有限会社 織道楽塩野屋	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウォーマー、腹巻、手袋、靴下））
28	株式会社 丸万中尾	後染反物（変一越（江戸小紋、友禅、色無地）、紋意匠（江戸小紋、色無地、友禅）、帯地（後染）
29	株式会社 むらかね	後染反物（色無地、黒紋付）
30	株式会社 高島屋	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、長襦袢
31	株式会社 さが美	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）
32	有限会社 まるけい	後染反物（色無地、黒紋付）
33	有限会社 特選呉服専門店後藤	後染反物（色無地、黒紋付）
34	株式会社 小いけ	後染反物（色無地、黒紋付、小紋）
35	株式会社 伊と幸	後染反物（色無地）、白生地（色無地）、裏絹（胴裏）、帯地（後染）
36	株式会社 四季のきもの おおにし	後染反物（色無地、黒紋付）帯地（後染）
37	株式会社 和幸	後染反物（色無地、黒紋付）
38	株式会社 栞屋高尾	帯地（袋帯）
39	株式会社 つるや	後染反物（色無地、黒紋付）
40	株式会社 越後屋	後染反物（色無地、黒紋付）
41	株式会社 小倉商店	白生地（結城紬）、先染反物（結城紬）、帯地（結城紬）

表示者登録番号	企 業 名	主な絹製品名
42	染織家 柳 崇	先染反物、帯地
43	染織家 児玉京子	先染反物
44	草木染工房山村	先染反物、帯地、ストール
45	手織り よおん	先染反物、帯地
46	祝嶺染織研究所	先染反物、帯地
47	株式会社 龍工房	和装小物（組紐）
48	からん工房	先染反物（紋紵、紼）、帯地
49	たわた工房	先染反物、帯地
50	山音 株式会社	後染反物（色無地（変三越、駒紵））
51	やまと 株式会社	後染反物
52	株式会社 御菌織物	先染反物、帯地
53	桜井 株式会社	帯地（先染）
54	有栖川織物 有限会社	帯地（先染）
55	太田和 株式会社	先染反物（結城紵）、帯地（結城紵）
56	株式会社 岩田	帯地（先染）
57	有限会社 神原呉服店	後染反物（色無地、黒紋付）
58	浅山織物 株式会社	帯地（先染）
59	株式会社 やまと	帯地（先染）、帯地（金銀糸5%を超えるもの）
60	田中種 株式会社	後染反物（小紋（紋意匠、変一越）、黒紋付、加賀友禅）、帯地（九寸名古屋帯）
61	株式会社 京扇	後染反物（色無地）、胴裏絹（パールトーン加工）
62	株式会社 なごみや	後染反物（色無地、黒紋付）
63	丸池藤井 株式会社	後染反物（色無地）、八掛
64	久保商事 株式会社	和装小物（帯揚、半衿）
65	加賀グンゼ 株式会社	裏絹（胴裏）
66	千切屋 株式会社	後染反物（訪問着、付下）、帯地
67	荒川 株式会社	和装小物（帯締、帯揚）
68	第一衣料 株式会社	後染反物（色無地）
69	株式会社 紅輪	後染反物（色無地）
70	装いの道 株式会社	裏絹（胴裏（トルマリン加工、灰汁浸け加工、ぐんま200、ぐんまレピア、新小石丸））、後染反物（本藍染、江戸更紗、京友禅）、白生地、帯地（後染）
71	株式会社 高橋屋	裏絹（胴裏（灰汁浸け加工））
72	おお又 株式会社	裏絹（胴裏（灰汁浸け加工））
73	株式会社 天野屋呉服店	裏絹（胴裏（ぐんま200（灰汁浸け加工））、白生地
74	株式会社 きもの潮見	裏絹（胴裏（パールトーン加工））
75	株式会社 とみひろ	裏絹（胴裏（ぐんま200（酵素精練））
76	株式会社 細安	裏絹（胴裏（ぐんま200（酵素精練））
77	京和きもの 株式会社	裏絹（胴裏（ぐんま200（酵素精練））
78	株式会社 まるため	裏絹（胴裏（トルマリン加工、パーリー加工））
79	株式会社 小川屋	裏絹（胴裏（ぐんま200（トルマリン加工、灰汁浸け加工））
80	株式会社 エムラ	裏絹（胴裏（酵素精練））
81	株式会社 荒井呉服店	裏絹（胴裏（酵素精練））
82	株式会社 牛島屋	裏絹（胴裏（酵素精練））、後染反物（小紋）

表示者登録番号	企業名	主な絹製品名
83	株式会社 谷呉服店	裏絹（胴裏（酵素精練））
84	株式会社 登美屋	裏絹（胴裏（パールトーン加工））
85	株式会社 川平屋	裏絹（胴裏（パールトーン加工））
86	丸専第一衣料 株式会社（丸専きもの）	裏絹（胴裏（パールトーン加工））
87	株式会社 大丸松坂屋百貨店	裏絹（胴裏、比翼（振袖用））、長襦袢
88	西陣織工業組合	洋装品（マフラー）
89	株式会社 あきやま	先染反物、洋装品（ショール、マフラー）
90	藤井紋 株式会社	後染反物（色無地）
91	株式会社 川まん	白生地
92	有限会社 結城屋	白生地
93	株式会社 ウメショウ	白生地
94	株式会社 大徳	後染反物（色無地）
95	有限会社 カシワギ	寝具寝装品（冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット）、洋装品（スカーフ、ストール、ネクタイ、シャツ、スーツ）
96	株式会社 北尾織物匠	帯地（袋帯、名古屋帯）
97	株式会社 平田組紐	帯締、帯締（金銀糸 5% を超えるもの）、羽織紐（男物、女物）
98	株式会社 菱健	後染反物（色無地）
99	西野 株式会社	帯締、帯締（金銀糸 5% を超えるもの）
100	京商 株式会社	後染反物（色無地、黒紋付）
101	株式会社 猪井	後染反物
102	株式会社 たちばな	後染反物
103	株式会社 丸富美	後染反物（色無地）
104	株式会社 絹もの屋まつなが	後染反物（色無地）
105	株式会社 山正山崎	後染反物（色無地）
106	有限会社 こくぶん呉服店	後染反物（色無地）
107	株式会社 染織近藤	後染反物（色無地）
108	株式会社 宮川呉服店	後染反物（色無地、付下）
109	株式会社 和らいふ	後染反物（色無地）
110	有限会社 きものいなもと	後染反物（色無地）
111	株式会社 世きね	後染反物
112	株式会社 西陣まいづる	帯地（袋帯、紹九寸帯（金銀糸 5% を超えるもの））
113	奥順 株式会社	先染反物（結城紬）、帯地（結城紬）
114	りょうぜん天蚕の会	ショール（天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド）
115	有限会社 金屋	後染反物（色無地）
116	株式会社 鶴屋百貨店	裏絹（胴裏（酵素精練））、先染反物（結城紬）
117	黄八丈めゆ工房	先染反物（黄八丈）
118	京屋呉服店	後染反物（色無地）
119	合資会社 車屋呉服店	後染反物（色無地、江戸小紋）
120	宮崎 株式会社	結城紬
121	有限会社 内海呉服店きもの千歳屋	白生地
122	長島繊維 株式会社	後染反物（色無地、帯地）
123	株式会社 しょう美	後染反物（色無地）
124	合資会社 治田呉服店	後染反物（色無地）
125	株式会社 丸十	後染反物（小紋）

表示者登録番号	企業名	主な絹製品名
125	株式会社 竹田嘉兵衛商店	裏絹（胴裏（酵素精練））
126	有限会社 樋口屋京染店	白生地（紋意匠）
127	大門屋	白生地（牛首紬）、帯地（後染（牛首紬））
128	株式会社 加藤萬	和装小物（帯揚、半衿）
129	株式会社 しゃらく	後染反物（小紋）
130	合資会社 山中商店	後染反物（小紋）
131	きもの処 あだち	後染反物（小紋）
132	西川産業 株式会社	寝具寝装品（掛布団）
133	繭工房 華美	寝衣（長肌着、短肌着）
134	株式会社 青山みとも	裏絹（胴裏（酵素精練））
135	株式会社 和想	後染反物（小紋）
136	株式会社 高島屋呉服店	後染反物（小紋）
137	富岡シルクブランド協議会	和装小物（褌）、洋装品（ネクタイ）
138	株式会社 丸年呉服店	後染反物（小紋）
139	株式会社 染織館	後染反物（小紋）
140	株式会社 京ろまん	後染反物（小紋）
141	五嶋 株式会社	和装小物（帯締）
142	株式会社 わふくや	長襦袢地
143	株式会社 布屋呉服店	裏絹（胴裏（トルマリン加工））、後染反物（小紋）
144	有限会社 明石屋	後染反物（色無地）、帯地（後染）
145	宮井 株式会社	和装小物（風呂敷）
146	株式会社 ナカノ	後染反物（小紋）
147	株式会社 芦田呉服店	後染反物（色無地、小紋）
148	株式会社 甲斐絹座	服飾品（スカーフ、ネクタイ）
149	有限会社さいとう呉服店	後染反物（色無地、付下）
150	株式会社西松屋	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
151	株式会社西尾呉服店	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
152	勝山織物 株式会社	帯地（金銀糸5%を超えるもの）
153	有限会社 石川	後染反物（型友禅、羽二重色無地）、先染反物
154	東朋 株式会社	服飾品（ストール）
155	那覇伝統織物事業協同組合	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール
156	株式会社 ふじや	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
157	きものおかだ	後染反物（小紋）
158	株式会社 J S	スカーフ、ストール、シャツ、スカート地、スーツ地、コート地、布団、布団カバー

蚕糸関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-22-1325
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地 (敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館「紫」(ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館 (財) 日本きもの文化協会	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館	394-0028	長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号	0266-22-5854
浦野染織資料博物館	393-0066	長野県諏訪郡下諏訪町曙町 5350	0266-27-8503
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6 十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
まゆの資料館	410-3612	静岡県賀茂郡松崎町宮内 263-2	0558-42-3912
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109-1	0532-52-5265
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都府京都市左京区静海市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都府京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上の大黒町 693 番地	075-431-0020
絹の白生地資料館	604-8176	京都府京都市中京区御池通室町東入る竜池町 448-2 伊と幸ビル	075-254-5884
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0311	兵庫県養父市大屋町大家市場 117	0796-69-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
結城紬関連施設 (結城市伝統工芸館)	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「椽」(つるばみ)	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344-1235	027-340-6060
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名民家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村又 17	076-259-2859
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織元田勇 (田勇機業株式会社)	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
シルク染め織り館	699-5216	島根県鹿足郡津和野町池村 1997-4	0856-74-0784

蚕糸関係団体ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp/>

【蚕糸絹業関係団体】

(財) 大日本蚕糸会
(社) 日本絹業協会 (シヤパソルクセンタ-)
(社) 日本生糸問屋協会
(財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
京都和装産業振興財団
(財) 伝統的工芸品産業振興協会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://homepage1.nifty.com/nittonkyo/>
<http://www.mawata.or.jp/>
<http://www.tanko.or.jp/>
<http://www.nishijin.or.jp/>
<http://www.tafts.or.jp/>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/>

【大学・試験研究機関】

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室
<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科
<http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan/>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科
<http://www.tuat.ac.jp/~seimei/>
(国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程
<http://www.bio.kit.ac.jp/>
(国) 京都工芸繊維大学
<http://www.kit.ac.jp/>
(国) 信州大学繊維学部
<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/>
(国) 名古屋大学農学部
<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学講座
http://www.hokudai.ac.jp/agricu/organization/bunya/l_in_bunshi_seibuts.html
(国) 九州大学大学院遺伝育種学講座蚕学研究室
<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/sangaku/>
(国) 九州大学大学院遺伝子資源工学専攻
http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/grt/igr/new_lab/index.html
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース
<http://www.news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department/bio/biofunc/index.html>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科
<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(独) 農業生物資源研究所
<http://www.nias.affrc.go.jp>
(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html
(財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html
群馬県蚕糸技術センター (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>蚕糸技術センター)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=50545
群馬県繊維工業試験場 (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>繊維工業試験場)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=59241
京都府織物・機械金属振興センター
<http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html>
京都市産業技術研究所繊維技術センター
<http://www.ktri.city.kyoto.jp/mainpage/sikenjo.html>

【学 会】

日本シルク学会
日本蚕糸学会

<http://www.silk.or.jp/ssstj/>
<http://www.soc.nii.ac.jp/~jsss2/>

【博物館】

(財) シルクセンタ-国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市立野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館

<http://www.silkmuseum.or.jp/>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>
[http://www.city.seiyo.ehime.jp/silk.](http://www.city.seiyo.ehime.jp/silk/)
<http://www.tuat.ac.jp/~museum/index.html>

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	43
(2) 養蚕業の概要	44
(3) 養蚕農家数の推移	45
(4) 収繭量の推移	46
(5) 都府県別養蚕農家数・桑使用面積・収繭量（2008年）	47
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移（2008～2010年）	48
(7) 平成23年度蚕期別、都府県別繭生産数量	49
(8) 平成22年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	50
(9) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	51
(10) 生糸の織度別生産数量の推移	52
(11) 国産生糸価格実態	54
(12) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	55
(13) 品目別・絹二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	56
(14) 製糸工場の原料繭需給	57
(15) 製糸工場の操業状況	58
(16) 生糸在庫数量の内訳	59
(17) 蚕糸関係品目別輸入状況	60
(18) 生糸の原産国別輸入数量	61
(19) 絹糸の原産国別輸入数量	62
(20) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	63
(21) 絹織物生産数量	64
(22) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	65
(23) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況	66

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	67
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	68
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数	69
(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移	70
(5) 中国のシルク類（生糸・絹糸・絹織物）の輸出状況	71
(6) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率	72
(7) 中国企業別従業員年間平均賃金及び対前年増減率	73
(8) 中国産業別従業員年平均賃金の推移	74
(9) 中国省別従業員年平均賃金（2010年）	75
(10) ブラジルの繭・生糸生産数量の推移	76
(11) ブラジルの繭、生糸・絹撚糸、絹織物の生産、輸入及び輸出状況	77

一資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 年次 (暦年) Calendar year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台 数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
1995 7年	13,640	5,350	392	53.4	29	63	94.2	54,131
1996 8年	7,890	3,021	383	42.7	26	58	84.7	53,815
1997 9年	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
1998 10年	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
1999 11年	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
2000 12年	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2001 13年	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
2002 14年	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
2003 15年	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
2004 16年	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
2005 17年	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2006 18年	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
2007 19年	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
2008 20年	1,021	382	374	1.6	7	80	38.1	14,043
2009 21年	915	327	357	1.2	7	60	33.6	11,472
2010 22年	753	265	352	0.9	7	49	35.9	11,612
2011 23年	※655	220	※336	0.7	7	50	34.7	10,419
前年対比 (%) 2011/09	※87.0	83.0	※95.5	77.8	100.0	102.0	96.7	89.7

資料 ・平成20年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。 (※は未確定)

・平成21年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(財)大日本蚕糸会調査である。

・平成21年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査である。

・平成20年以前の絹業は経済産業省調査であり、平成21年以降絹業は(社)日本絹人織機工業会調査である。

平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、平成14年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
 ・National Federation of Agricultural Co-operative Associations and The Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009)
 ・Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)
 ・The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008)
 ・Japan Silk & Rayon Weaver's Association (Silk Fabric, after 2009)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕業の概要

Outline of Sericultural Industry

項 目 Item 年 次 Year	養蚕農家数	桑栽培面積	桑使用面積	蚕種 掃立卵量	1箱当り 収繭量	収繭量	1戸当り 栽培面積	1戸当り 掃立卵量	1戸当り 収繭量
	Farmhouse- holds raising silk-worm	Growing area of mulberry	Harvested area of mulberry	Silk-worm eggs used	Cocoon production per box of silk-worm eggs used	Cocoon production	Growing area of mulberry per farm household raising silk-worm	Box of silkworm eggs used per farm household raising silk-worm	Cocoon production per farm household raising silk-worm
	戸 number	100ha	100ha	1000箱 1,000cases	kg	t	a	箱 box	kg
1993	27,200	425	239	319	35	11,212	156	12	412
1994	19,000	339	173	228	34	7,724	178	12	406
1995	13,600	263	117	155	35	5,350	193	11	392
1996	7,890	193	66	87	35	3,021	244	11	382
1997	6,310	138	54	74	34	2,516	219	12	399
1998	5,070	103	44	60	33	1,980	203	12	390
1999	4,030	74	33	45	33	1,496	184	11	371
2000	3,280	59	27	37	33	1,244	179	11	379
2001	2,730	48	23	31	34	1,031	174	11	378
2002	2,360	43	22	26	34	880	182	11	373
2003	2,070	38	19	23	33	780	185	11	374
2004	1,850	34	18	21	38	683	186	11	369
2005	1,591	30	16	18	34	626	188	12	396
2006	1,345	27	14	15	34	505	198	11	375
2007	1,169	24	12	13	35	433	202	11	371
2008	1,021	20	10	11	36	382	197	10	374
対前年比 2008/07 (%)	87.3	83.3	83.3	84.6	102.9	88.2	97.5	90.9	100.8

資 料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、農林水産省生産局調査（2002～2008年）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001) .

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2002～) .

(3) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit：number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1993		27,180	24,160	17,450	20,740
1994		19,040	16,790	13,190	14,790
1995		13,640	12,450	9,560	9,580
1996		7,890	6,980	5,000	6,290
1997		6,310	5,650	4,420	5,120
1998		5,070	4,550	3,750	4,120
1999		4,030	3,600	2,710	3,280
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
対前年比 2008/07 (%)		87.3	88.3	84.4	86.7

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年、参考数値）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）。

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004)。

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年)。

(4) 収繭量の推移

Cocoon Production

項 目 Item 年 次 Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm				桑使用面積 10a当たり 収繭量 (年間) Cocoon production per farm harvested area of mulberry
	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg	kg/10a
1993	11,212	4,624	3,060	3,529	412	191	175	170	47
1994	7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170	46
1995	5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172	46
1996	3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173	46
1997	2,516	982	678	857	398	174	153	167	46
1998	1,980	769	588	623	390	169	157	151	45
1999	1,496	596	391	509	371	166	144	155	46
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157	47
2001	1,031	391	275	365	378	162	147	161	47
2002	880	330	231	320	373	166	134	167	40
2003	775	313	210	253	374	167	140	144	40
2004	675	256	176	243	369	158	128	157	38
2005	626	243	165	218	396	171	156	162	40
2006	505	209	122	173	375	172	143	157	36
2007	433	175	110	148	371	166	152	150	37
2008	382	147	96	139	374	158	157	162	39
対前年比 2008/07 (%)	88.2	84.0	87.3	93.9	100.8	95.2	103.3	108.0	105.4
構成比 (%)	100.0	38.5	25.1	36.4					

資 料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年、参考数値）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）。

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年)。

(5) 都府県別養蚕農家数・桑使用面積・収繭量（2008年）

Farm households raising silk-worm, Harvested area of mulberry and Cocoon production by prefectures in 2008

項目 Item 県別 Each Prefecture	年 計			春 繭		初秋繭		晩秋繭	
	Annual total			spring silk-worm		Early autumn silk-worm		late autumn silk-worm	
	養 蚕 農家数	桑使用 面 積	収繭量	養 蚕 農家数	収繭量	養 蚕 農家数	収繭量	養 蚕 農家数	収繭量
	Farm households raising silk-worm	Harvested area of mulberry	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production
	number	ha	t	number	t	number	t	number	t
岩 手 Iwate	29	30	11.0	22	2.8	21	4.0	26	4.2
宮 城 Miyagi	39	37	13.0	28	4.6	28	3.8	32	4.5
山 形 Yamagata	15	24	5.6	12	2.2	11	1.3	13	2.2
福 島 Fukushima	104	116	51.3	99	18.1	33	14.2	89	19.1
茨 城 Ibaragi	39	30	14.5	39	5.8	32	3.8	33	5.0
栃 木 Tochigi	50	86	39.4	48	14.8	35	7.4	46	17.2
群 馬 Gunma	417	471	161.2	383	63.2	249	40.9	370	57.2
埼 玉 Saitama	97	75	32.8	93	12.1	74	8.7	83	12.0
千 葉 Chiba	13	6	3.9	12	1.4	6	0.7	10	1.8
神奈川 Kanagawa	12		2.3	11	0.9	9	0.6	12	0.9
山 梨 Yamanashi	34	26	11.7	30	5.6	15	2.3	22	3.8
長 野 Nagano	46	32	13.2	42	5.4	37	3.4	35	4.4
岐 阜 Gifu	28	12	4.4	24	2.1	13	0.5	22	1.7
徳 島 Tokushima	23	10	4.6	22	2.4	13	1.0	16	1.2
愛 媛 Ehime	22	19	7.6	16	2.8	21	2.5	18	2.4
熊 本 Kumamoto	11	4	1.3	11	0.9	6	0.2	7	0.2
その他 Others	42	14	4.0	37	1.6	10	0.7	23	1.3
全国計 Total	1,021	992	381.8	929	146.7	613	96.0	857	139.1

資 料：農林水産省生産局調査。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移 (2008～2010年)

Production by Sort of Silk-worm Eggs

Year Item	2008年		2009年		2010年	
	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %
錦秋1号 × 鐘和1号	4,023	28.2	4,803	34.9	3,420	26.3
錦秋 × 鐘和	2,700	19.0	2,400	17.5	2,400	18.5
春嶺1号 × 鐘月1号	2,410	16.9	1,565	11.4	2,072	15.9
ぐんま 200	1,832	12.9	1,622	11.8	1,627	12.5
春嶺 × 鐘月	900	6.3	900	6.5	1,001	7.7
かいりょう × あけぼの	355	2.5	442	3.2	487	3.7
新小石丸	313	2.2	317	2.3	355	2.7
芙蓉 × つくばね	300	2.1	300	2.2	300	2.3
上州絹星	191	1.3	204	1.5	51	0.4
世紀二一	176	1.2	218	1.6	191	1.5
緑繭 1号	157	1.1	129	0.9	56	0.4
ブラチナボーイ	147	1.0	71	0.5	73	0.6
朝日 × 東海	100	0.7	100	0.7		
朝日 × つくばね	100	0.7	100	0.7	100	0.8
ぐんま 黄金	92	0.6	117	0.9	152	1.2
改良小石丸	79	0.6	87	0.6	87	0.7
白繭 細 1号	71	0.5	60	0.4	115	0.9
小石丸	55	0.4	39	0.3	27	0.2
蚕技研 10号	45	0.3				
蚕技研 11号	39	0.3	54	0.4	26	0.2
蚕技研 11号	28	0.2	61	0.4	53	0.4
分離白1号 × 支 106号	18	0.1	9	0.1	8	0.1
白繭 細 2号	16	0.1	20	0.1		
新極細 1号	15	0.1	9	0.1	14	0.1
玉小 石山	13	0.1	21	0.2	30	0.2
鷹 小 石山	12	0.1	33	0.2	16	0.1
鷹 小 石山	9	0.1	29	0.2	25	0.2
支 21号 × 四川 3眠	9	0.1	6	0.0	4	0.0
又昔 × 中 515号	8	0.1	6	0.0	5	0.0
青熟 × 支 21号	6	0.0	6	0.0	6	0.0
諸桂 × 紹興白	6	0.0	4	0.0	4	0.0
黄 5号	5	0.0	5	0.0	5	0.0
天竜青白 × 支 108号	4	0.0				
青熟 × 中 515号	3	0.0	2	0.0	3	0.0
鬼縮 × 中 515号	3	0.0	4	0.0	1	0.0
青白 × 中 515号	3	0.0				
山東三眠 × 中 515号	2	0.0				
松岡 姫り					200	1.5
いろど					39	0.3
鐘光 × 黄玉					35	0.3
太平 × 長安					7	0.1
支 108号 × 青熟			2	0.0	5	0.0
合計 Total	14,245	100.0	13,745	100.0	13,000	100.0

資料：(財)大日本蚕糸会調査。

Source：The Dainippon Silk Foundation.

(7) 平成23年度蚕期別、都府県別繭生産数量

Cocoon production by prefectures in 2011.

(単位: kg、%)

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比
青森県	—	—	—	137.4	156.3	113.8%	144.7	119.3	82.4%	282.1	275.6	97.7%
岩手県	2,017.6	1,977.5	98.0%	2,783.7	2,318.9	83.3%	3,049.7	2,474.0	81.1%	7,851.0	6,770.4	86.2%
宮城県	2,755.5	2,127.1	77.2%	2,335.9	2,341.8	100.3%	3,046.5	2,248.6	73.8%	8,137.9	6,717.5	82.5%
山形県	1,649.3	1,315.2	79.7%	761.7	767.4	100.7%	1,254.4	1,638.3	130.6%	3,665.4	3,720.9	101.5%
福島県	12,488.4	11,519.5	92.2%	11,946.4	8,972.5	75.1%	16,645.2	13,617.0	81.8%	41,080.0	34,109.0	83.0%
茨城県	3,672.0	4,486.0	122.2%	2,653.6	2,323.2	87.5%	3,181.4	3,028.4	95.2%	9,507.0	9,837.6	103.5%
栃木県	12,003.5	11,488.4	95.7%	4,465.3	5,259.7	117.8%	14,350.8	9,370.2	65.3%	30,819.6	26,118.3	84.7%
群馬県	49,138.1	42,178.0	85.8%	23,357.1	18,729.3	80.2%	38,871.7	28,938.0	74.4%	111,366.9	89,845.3	80.7%
埼玉県	9,018.9	7,692.5	85.3%	4,968.6	3,308.7	66.6%	6,903.5	6,061.7	87.8%	20,891.0	17,062.9	81.7%
千葉県	1,263.6	1,168.6	92.5%	671.7	569.4	84.8%	1,310.9	1,113.4	84.9%	3,246.2	2,851.4	87.8%
東京都	543.1	386.0	71.1%	—	—	—	342.3	163.3	47.7%	885.4	549.3	62.0%
神奈川県	884.8	—	—	584.8	—	—	637.9	—	—	2107.5	—	—
山梨県	3,851.7	3,665.7	95.2%	1,170.0	805.7	68.9%	2,508.8	2,233.2	89.0%	7,530.5	6,704.6	89.0%
長野県	3,016.2	2,714.3	90.0%	2,212.9	1,765.0	79.8%	2,533.0	2,440.2	96.3%	7,762.1	6,919.5	89.1%
新潟県	—	186.4	—	46.6	54.3	116.5%	51.9	—	—	98.5	240.7	244.4%
福井県	—	62.4	—	—	21.2	—	—	23.0	—	—	106.6	—
岐阜県	1,351.3	1,086.0	80.4%	232.8	—	—	687.4	614.1	89.3%	2,271.5	1,700.1	74.8%
愛知県	120.9	64.1	53.0%	—	—	—	—	—	—	120.9	64.1	53.0%
兵庫県	83.5	42.0	50.3%	80.0	35.0	43.8%	66.0	—	—	229.5	77.0	33.6%
京都府	102.4	111.4	108.8%	97.5	—	—	40.6	93.3	229.8%	240.5	204.7	85.1%
愛媛県	2,172.3	1,992.9	91.7%	1,183.1	1,350.5	114.1%	1,671.9	1,482.3	88.7%	5,027.3	4,825.7	96.0%
高知県	280.4	228.4	81.5%	—	—	—	128.1	86.7	67.7%	408.5	315.1	77.1%
熊本県	543.4	431.9	79.5%	—	—	—	271.6	91.8	33.8%	815.0	523.7	64.3%
宮崎県	136.6	115.2	84.3%	—	—	—	62.7	67.3	107.3%	199.3	182.5	91.6%
鹿児島県	—	1.5	—	—	—	—	—	6.6	—	—	8.1	—
全国計	107,093.5	95,041.0	88.7%	59,689.1	48,778.9	81.7%	97,761.0	75,910.7	77.6%	264,543.6	219,730.6	83.1%

資料: (財)大日本蚕糸会調査

Source: The Dainippon Silk Foundation

(8) 平成22年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

Farm households raising silk-worm by prefectures in 2010.

(単位:戸、%)

都府県名	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	21年	22年	前年対比	21年	22年	前年対比	21年	22年	前年対比	21年	22年	前年対比
青森県	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
岩手県	21	15	71.4	23	23	100.0	28	23	82.1	33	27	81.8
秋田県	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
宮城県	30	21	70.0	23	17	73.9	33	21	63.6	37	28	75.7
山形県	11	10	90.9	10	9	90.0	11	9	81.8	12	11	91.7
福島県	83	71	85.5	72	65	90.3	82	76	92.7	95	83	87.4
茨城県	33	18	54.5	28	20	71.4	24	20	83.3	33	37	112.1
栃木県	43	37	86.0	32	25	78.1	40	38	95.0	47	40	85.1
群馬県	336	288	85.7	290	216	74.5	330	278	84.2	373	310	83.1
埼玉県	72	63	87.5	57	48	84.2	68	59	86.8	79	68	86.1
千葉県	12	10	83.3	9	7	77.8	9	8	88.9	12	11	91.7
東京都	6	6	100.0	0	0	-	7	5	71.4	7	7	100.0
神奈川県	9	9	100.0	10	10	100.0	10	10	100.0	12	12	100.0
新潟県	15	0	-	2	1	50.0	3	1	33.3	15	1	6.7
山梨県	31	24	77.4	14	7	50.0	22	21	95.5	31	27	87.1
長野県	32	28	87.5	26	19	73.1	27	25	92.6	39	31	79.5
岐阜県	25	18	72.0	9	8	88.9	18	17	94.4	27	21	77.8
静岡県	1	0	0.0	1	0	-	1	0	-	1	0	-
愛知県	2	1	50.0	1	0	-	0	0	-	3	1	33.3
兵庫県	1	1	100.0	1	1	100.0	0	1	-	1	1	100.0
島根県	1	0	-	0	0	-	1	0	-	1	0	0.0
徳島県	16	0	-	12	0	0.0	13	0	-	16	0	-
愛媛県	17	17	100.0	19	15	78.9	17	19	111.8	22	19	86.4
高知県	4	4	100.0	0	0	-	3	3	100.0	5	5	100.0
熊本県	10	8	80.0	4	2	50.0	6	4	66.7	10	8	80.0
宮崎県	2	4	200.0	3	0	-	1	2	200.0	3	4	133.3
全国計	814	654	80.3	647	494	76.4	755	641	84.9	915	753	82.3

資料:大日本蚕糸会調査

Source:The Dainippon Silk Foundation

(9) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,999	8,252
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,524	568	12,959	7,578
2007	1,747	12,601	—	15,624	7,879	19,439	404	11,355	7,184
2008	1,588	15,031	—	20,115	4,584	22,636	466	11,640	7,126
2009	1,152	12,085	—	13,766	4,055	16,647	388	8,996	6,269
2010	882	12,209	—	13,817	3,329	16,306	324	9,029	6,299
2011	731	9,322	—	10,926	2,456	17,526	428	8,546	6,229
生糸年度 Silk Year									
2004	3,868	20,154	11,500	27,002	7,274	30,204	565	14,130	7,286
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	—	20,286	5,281	22,936	433	12,255	6,087
2008	1,378	12,137	—	14,638	4,158	18,716	378	10,320	6,806
2009	1,029	12,857	—	14,383	3,661	17,481	366	8,639	6,182
2010	814	12,207	—	13,815	2,935	16,307	324	9,000	6,299
2010 - 11	72	1,082	—	1,187	3,567	1,453	36	879	480
12	74	1,223	—	1,535	3,329	1,485	23	836	506
2011 - 1	53	1,448	—	1,521	3,309	1,790	18	976	427
2	69	593	—	823	3,148	982	55	486	559
3	65	1,381	—	1,031	3,563	1,858	15	769	599
4	70	372	—	851	3,154	1,674	15	741	562
5	66	1,280	—	1,501	2,999	1,797	17	910	440
6	63	760	—	890	2,932	1,731	30	762	667
7	59	489	—	608	2,872	1,489	29	780	457
8	53	547	—	590	2,882	1,498	47	706	443
9	61	420	—	932	2,431	1,340	45	610	568
10	56	765	—	790	2,462	1,165	78	515	530
11	64	550	—	820	2,256	1,202	47	656	469
12	52	717	—	569	2,456	1,001	32	636	508
2012 1	42	1,185	—	992	2,691	1,590	39	804	291
2	47	481	—	761	2,458	758	13	242	513
3	48	931	—	970	2,467	1,143	37	782	555

資 料 : (A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局調査。(B) 財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F) (G) (H) (I) 財務省関税局調査。

備 考 : 1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : (A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(B) The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on date of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan. 1996 until Mar. 2008, excluding bonded silk.

(F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Domestic deliveries(D) = {Stock at end of the previous month+(A)+(B)} - {(C)+(E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(10) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位 : 60kg俵)

(Unit : Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	生 糸 Raw Silk					
	計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others	
暦 年 Calendar Year							
2005		2,508	8	337	834	799	527
2006		1,956	4	240	531	653	523
2007		1,747	5	259	495	514	474
2008		1,588	4	289	421	368	503
2009		1,152	1	243	392	251	262
2010		882	1	179	316	86	300
2011		729	1	188	250	89	204
生糸年度 Silk Year							
2005		2,024	6	261	510	726	518
2006		1,794	4	269	480	562	475
2007		1,762	5	276	443	495	537
2008		1,378	1	291	447	280	360
2009		1,029	—	205	358	208	242
2010 -	6	77	—	7	36	—	34
	7	76	—	11	32	2	31
	8	61	—	12	24	1	24
	9	60	—	29	9	7	15
	10	71	—	12	27	5	27
	11	72	1	6	31	—	34
	12	74	—	7	24	8	35
2011 -	1	53	—	27	12	4	10
	2	69	—	16	23	5	25
	3	65	—	18	15	10	22
	4	70	—	13	22	7	28
	5	66	—	18	18	6	24
	6	63	—	11	29	7	16
	7	59	—	13	23	—	23
	8	53	1	9	24	6	13
	9	59	—	15	23	6	17
	10	56	—	23	14	12	7
	11	64	—	6	37	10	12
	12	52	—	19	10	16	7
2012 -	1	42	—	7	9	16	10
	2	47	—	15	10	17	5
	3	48	—	6	33	3	6

資 料 : 農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会(2010.4～)。

備 考 : kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3). Central Raw Silk Association (2010.4～).

Remarks : Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(参考) 中国生糸電子取引値段

China Raw Silk Monthly Prices of Electric Contract Traded

生糸B類(21デニール3A)
Standard Raw Silk:21d 3A

上段単位:元/kg、下段:円/kg
(Upper Sec Unit:Yuan/kg,Lower Sec Unit:Yen/kg)

	限月 Month	単位	始値 Open	安値 Low	高値 High	終値 Close
5月中	5月	元	330.68	326.93	331.50	328.20
		円	4,299	4,250	4,310	4,267
	6月	元	329.70	325.35	330.08	325.95
		円	4,286	4,230	4,291	4,237
	7月	元	329.48	324.53	329.85	325.05
		円	4,283	4,219	4,288	4,226
	8月	元	329.18	323.78	329.70	324.68
		円	4,279	4,209	4,286	4,221
	9月	元	327.75	321.23	329.10	323.40
		円	4,261	4,176	4,278	4,204
	10月	元	328.80	323.78	329.48	324.23
		円	4,274	4,209	4,283	4,215
	11月	元	329.25	324.53	330.08	325.28
		円	4,280	4,219	4,291	4,229
	1月	元	329.85	324.75	330.38	325.43
		円	4,288	4,222	4,295	4,231
	3月	元	330.75	323.55	331.50	325.43
		円	4,300	4,206	4,310	4,231

	限月 Month	単位	始値 Open	安値 Low	高値 High	終値 Close
6月中	6月	元	314.85	312.00	315.00	312.30
		円	4,093	4,056	4,095	4,060
	7月	元	313.58	309.98	313.58	310.58
		円	4,076	4,030	4,076	4,037
	8月	元	312.60	309.23	313.13	309.75
		円	4,064	4,020	4,071	4,027
	9月	元	312.00	308.18	314.18	309.60
		円	4,056	4,006	4,084	4,025
	10月	元	312.23	310.13	313.05	310.58
		円	4,059	4,032	4,070	4,037
	11月	元	313.13	311.03	313.80	311.55
		円	4,071	4,043	4,079	4,050
	1月	元	313.58	311.70	314.85	312.23
		円	4,076	4,052	4,093	4,059
	3月	元	315.75	312.08	318.08	313.50
		円	4,105	4,057	4,135	4,076
	5月	元	313.95	311.70	314.33	311.78
		円	4,081	4,052	4,086	4,053

円換算レートは、1元＝13.00円である。

資料: 中国繭絲綢交易市場(浙江省嘉興)

Remarks: Rate 1Yuan = 13.00Yen

Source: China Silk Exchange (Zhejiang Sheng Jia Xing)

(11) 国産生糸価格実態

Japanese Raw Silk Actual Condition Price

単位：円／k g

(Unit: Yen/ k g)

Year & Month \ Size		21d	27d	31d	平均 Average
2005		3, 870	3, 173	3, 107	3, 383
2006		4, 617	4, 267	4, 080	4, 321
2007		3, 961	3, 625	3, 573	3, 720
2008		4, 266	3, 754	3, 489	3, 836
2009		4, 171	3, 598	3, 136	3, 635
2010		4, 152	3, 891	3, 564	3, 869
2011		5, 261	4, 923	5, 260	5, 148
2010 —	7	4, 000	3, 883	3, 600	3, 828
	8	4, 256	3, 893	3, 814	3, 988
	9	4, 209	3, 965	3, 625	3, 933
	10	4, 231	4, 106	3, 833	4, 057
	11	4, 338	4, 149	3, 912	4, 143
	12	4, 329	4, 336	4, 002	4, 222
2011 —	1	4, 267	4, 287	4, 127	4, 220
	2	4, 763	4, 737	4, 967	4, 967
	3	4, 800	4, 619	4, 556	4, 658
	4	4, 942	4, 593	4, 865	4, 800
	5	5, 188	4, 699	4, 853	4, 913
	6	5, 200	5, 035	4, 750	4, 995
	7	5, 600	5, 109	5, 327	5, 345
	8	5, 602	5, 106	5, 586	5, 431
	9	5, 778	5, 237	6, 078	5, 698
	10	5, 455	5, 282	5, 872	5, 536
	11	5, 733	5, 138	5, 657	5, 509
	12	5, 800	5, 257	6, 043	5, 700
2012 —	1	5, 799	4, 682	6, 119	5, 533
	2	5, 788	5, 181	6, 125	5, 698
	3	5, 859	5, 006	6, 177	5, 681

注：国産生糸価格実態は、調査対象生糸売買業者の平均取引価格である。

資料：（社）日本生糸問屋協会

Remarks: Japan raw silk actual condition price is average trade price among domestic dealers

Source: Japan Raw Silk Dealer's Association

(12) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)
(Unit: 1,000Bales of
60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					二 次 The Second	輸 出 Export					内 需	在 庫 Ending Stocks ④	
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	計 ③ Total		生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	Domestic Demand ②-③			
1990	462	164	95	203	35	16	59	93	290	13	—	0	9	4	277	172
1991	494	172	92	230	46	29	62	93	327	11	0	0	7	4	316	167
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	152	16	0	0	15	1	136	43
対前年比 2010/09 (%)	95	75	100	102	100	100	107	102	80	100	—	—	100	100	78	91

資 料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。

ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、(社)日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source : "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics" (arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)

After 2000, estimated by Japan Raw Silk Dealer's Association through collaboration with Agricultural Production, Bureau MAFF.

(13) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）

Breakdown of Silk Second Products Imports(Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit:1,000 Bales of 60kg)

項目 Item		暦年 Calendar Year	2005	2006	2007	2008	2009	2010	前年比% y/y	構成比% ratio
布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments		2.7	3.7	3.9	2.5	1.8	2.8	155.6	2.1
	女子用外衣類 Women's upper garments		59.9	56.6	50.0	40.2	37.1	38.4	103.5	28.9
	うちブラウス Blouse of the inside		3.7	3.5	3.0	3.4	2.8	2.4	85.7	1.8
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth		5.8	5.7	2.2	1.6	1.1	1.0	90.9	0.8
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth		16.1	15.1	15.0	16.3	13.5	13.9	103.0	10.5
	ハンカチ Handkerchief		1.9	1.0	0.5	0.5	0.4	0.3	75.0	0.2
	ショール、スカーフ類 Shawl, scarves		3.4	2.7	3.0	2.9	2.5	2.2	88.0	1.7
	ネクタイ類 Ties		25.2	21.4	21.6	20.8	18.2	18.1	99.5	13.6
	メリヤス、クロセス編物 Knit.kurose knitting		19.9	18.5	21.2	19.8	15.9	17.9	112.6	13.5
	その他の洋装類 Other western clothes		26.7	26.3	25.4	23.7	22.0	21.0	95.5	15.8
洋装類計 Western clothes subtotal			161.6	151.0	143.0	128.3	112.4	115.6	102.8	86.9
和装類計 Japanese clothes subtotal			17.4	18.4	15.5	14.7	15.9	14.5	91.2	10.9
うち絹製の帯小物等 Silk obi accessorys of the inside			14.1	16.0	12.9	12.1	13.9	12.5	89.9	9.4
その他 Others			2.1	2.5	2.5	2.4	1.9	2.9	152.6	2.2
合 計 Total			181.0	171.9	161.0	145.4	130.2	133.0	102.2	100.0

資料：財務省「日本貿易月報」により（社）日本生糸問屋協会で作成したものである。

注：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source:The Customs Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"
(arranged by Raw Silk Dealer's Association)

Note :Total may not added up due to round off.

(14) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2005		806	830	589
2006		600	645	541
2007		548	581	505
2008		393	518	378
2009		308	385	313
2010		240	299	263
2011		222	248	237
生糸年度 Silk Year				
2005		837	693	390
2006		562	599	349
2007		502	583	266
2008		406	452	224
2009		324	337	209
2010		260	281	188
Year	Month			
2010	— 11	8	24	293
	12	1	31	263
2011	— 1	27	17	273
	2	5	23	255
	3	0	22	233
	4	1	24	210
	5	0	22	188
	6	46	21	213
	7	36	20	229
	8	34	20	243
	9	13	21	235
	10	41	20	256
	11	19	21	254
	12	0	17	237
2012	— 1	4	15	226
	2	0	16	210
	3	0	16	194

資 料：農林水産省生産局調査(～2010. 3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010. 4～)。

備 考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010. 3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010. 4～).

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(15) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運轉工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers	
			運轉可能 Operable	運 転 Operating				
暦 年 Calendar Year								
	2005	10	203	126	62	269	111	
	2006	9	114	94	82	266	103	
	2007	8	112	93	83	266	100	
	2008	7	112	90	80	266	90	
	2009	7	118	71	60	259	82	
	2010	7	118	58	49	247	73	
	2011	7	110	57	52	252	65	
2010 —	3	7	118	80	68	22	80	
	4	7	118	79	67	20	90	
	5	7	118	75	64	21	91	
	6	7	118	74	63	22	84	
	7	7	118	75	64	17	84	
	8	7	118	76	64	18	79	
	9	7	118	72	61	22	79	
	10	7	118	76	64	22	79	
	11	7	118	73	62	21	79	
	12	7	118	58	49	21	73	
	2011 —	1	7	118	58	49	20	67
		2	7	118	58	49	21	63
3		7	118	60	51	23	62	
4		7	118	55	47	21	66	
5		7	110	55	50	20	64	
6		7	110	52	47	21	60	
7		7	110	55	50	22	56	
8		7	110	53	48	20	64	
9		7	110	64	58	21	65	
10		7	110	57	52	21	66	
11		7	110	55	50	21	66	
12		7	110	57	52	21	65	
2012 —	1	7	110	51	46	18	63	
	2	7	110	48	44	19	63	
	3	7	110	47	43	19	63	

資 料：農林水産省生産局調査(～2010. 3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010. 4～)。

備 考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010. 3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010. 4～).

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(16) 生糸在庫数量の内訳
Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項 目 Item 年 月 Year & Month	総 計 Grand Total	一 般 在 庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場 売買業者 Dealers	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers	受 入 数 量 Accepts	引 渡 数 量 Deliveries	在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year									
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
2009	4,055	4,055	355	10	3,162	528			
2010	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
2011	2,456	2,456	288	0	1,651	517			
生糸年度 (6～5) Silk Year									
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2008	4,205	4,205	376	15	3,266	515			
2009	3,661	3,661	358	0	2,795	508			
2010	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
2010 — 6	3,542	3,542	343	0	2,644	555			
7	3,221	3,221	334	0	2,441	446			
8	3,204	3,204	340	0	2,365	499			
9	3,257	3,257	331	0	2,422	504			
10	3,600	3,600	328	0	2,646	626			
11	3,567	3,567	331	0	2,628	608			
12	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
2011 — 1	3,309	3,309	292	0	2,388	629			
2	3,148	3,148	284	0	2,219	645			
3	3,563	3,563	288	0	2,511	764			
4	3,154	3,154	288	0	2,182	684			
5	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
6	2,932	2,932	213	0	2,110	609			
7	2,872	2,872	229	0	2,095	548			
8	2,882	2,882	243	0	2,168	471			
9	2,431	2,431	281	0	1,729	421			
10	2,462	2,462	273	0	1,664	525			
11	2,256	2,256	282	0	1,559	415			
12	2,456	2,456	288	0	1,651	520			
2012 — 1	2,691	2,691	277	0	1,825	586			
2	2,458	2,458	271	0	1,694	493			
3	2,467	2,467	273	0	1,696	498			

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3)。

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～)。

(17) 蚕糸関係品目別輸入状況（平成19年～24年3月）

Breakdown of Silk-Related Products Imports (2007～Mar. 2012)

	単位 Unit	平成24年(2012)		平成23年 (2011)	平成22年 (2010)	平成21年 (2009)	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	23年/22年 2011/10 (%)
		(3月) Mar.	(累計) Accumulated Total						
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bale s of 60kg	931	2,597	9,323	12,209	12,085	15,242	12,858	76.4
絹糸 Silk Yarn	俵 Bale s of 60kg	1,143	3,491	17,526	16,306	16,647	22,636	19,439	107.5
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bale s of 60kg	—	—	—	82	149	317	333	0.0
繭 Cocoon	kg	—	3,500	4,050	13,158	9,800	4,000	13,750	30.8
具 綿 Floss Silk	kg	—	—	—	—	—	29,071	28,660	—
ペ ニ Peigne	kg	—	—	—	—	35,331	2,770	6,336	—
く ず 繭 Waste Cocoon	kg	—	2,062	10,885	9,395	33,450	23,770	17,184	115.9
絹ノイル Silk Noil	kg	—	—	—	—	—	202,220	242,082	—
その他の 絹 く ず Other Silk Waste	kg	14,219	33,760	98,732	134,852	103,122	193,125	238,507	73.2
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	14,219	35,822	109,617	144,247	171,903	450,956	532,769	76.0
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	35,983	120,560	394,920	451,219	335,710	526,662	608,270	87.5
絹紡糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	14,610	34,028	118,404	104,374	97,554	143,585	117,265	113.4
絹織物 Silk Fabrics	m ²	782,059	1,827,393	8,545,903	9,029,003	8,996,010	11,540,335	11,355,333	94.6

資料：財務省関税局

備考：絹ノイルと真綿の統計は、平成21年1月より廃止された。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(18) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位：60kg 俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 Country	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
年 月 Year & Month	Total	China	Brazil	Vietnam	Thailand	Others
暦年 Calendar Year						
2008	15,242 (137)	10,969 (102)	4,152 (35)	-	122 (-)	
2009	12,085 (72)	8,170 (51)	3,855 (21)	0 (-)	41 (-)	-
2010	12,209 (65)	8,411 (40)	3,706 (25)	0	32	-
2011	9,323 (45)	7,170 (20)	2,136 (25)	0	5	-
生糸年度 Silk Year						
2008	12,138 (103)	8,572 (89)	3,435 (14)	11	122	-
2009	12,857 (66)	8,787 (38)	3,896 (28)	11	73	-
2010	12,172 (79)	9,062 (65)	3,068 (14)	1	39	-
2010 - 8	985 (15)	790 (15)	176	-	19	-
9	1,174	892	282	-	-	-
10	1,070 (16)	670 (10)	400 (6)	-	-	-
11	1,082	843	234	1	5	-
12	1,223	651	572	-	-	-
2011 - 1	1,448 (13)	1,168 (10)	274 (3)	-	6	-
2	593	521	72	-	-	-
3	1,381 (15)	1,052 (10)	321 (5)	-	6	-
4	372	316	56	-	-	-
5	1,280 (11)	1,082	198	-	-	-
6	760 (7)	416	344 (7)	-	-	-
7	489 (10)	389	100 (10)	-	-	-
8	547	292	254	-	-	-
9	420	420	-	-	-	-
10	765	491	272	-	3	-
11	550	325	225	-	-	-
12	717	697	20	-	3	-
2012 - 1	1,185	1,149	36	-	-	-
2	481	289	193	-	-	-
3	931	870	61	-	-	-

資 料：財務省関税局調査

備 考：1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。
2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Country volume may not add up the total volume due to round off.
2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(19) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 年月 Country Year & Month	計 Total	韓 国 S Korea	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year								
2008	22,636	143	12,513	6,865	12	—	3,204	12
2009	16,647	—	9,656	5,096	12	—	1,742	137
2010	16,306	—	9,675	4,161	16	—	1,716	212
2011	17,526	—	10,384	5,129	7	—	1,722	79
生糸年度 Silk Year								
2008	18,716	23	10,677	5,700	11	—	2,242	64
2009	17,481	—	9,940	5,065	7	—	1,953	186
2010	17,729	—	11,117	4,927	8	—	1,482	195
2010 — 3	1,051	—	506	343	1	—	132	68
4	1,318	—	747	363	—	—	178	29
5	1,192	—	692	342	—	—	157	—
6	1,325	—	889	296	—	—	135	4
7	1,573	—	1,026	352	—	—	144	50
8	1,303	—	784	382	—	—	137	0
9	1,235	—	811	302	—	—	121	1
10	1,254	—	754	366	—	—	132	2
11	1,453	—	790	526	13	—	81	56
12	1,485	—	877	465	1	—	141	1
2011 — 1	1,790	—	1,108	543	—	—	139	—
2	982	—	559	312	—	—	110	—
3	1,858	—	1,244	467	2	—	134	10
4	1,674	—	1,124	448	2	—	99	3
5	1,797	—	1,151	468	1	—	109	68
6	1,731	—	906	628	—	—	197	1
7	1,489	—	910	432	0	—	155	1
8	1,498	—	730	432	0	—	225	—
9	1,340	—	745	543	1	—	51	—
10	1,165	—	542	309	—	—	243	70
11	1,202	—	672	297	—	—	232	—
12	1,001	—	692	219	—	—	28	61
2012 — 1	1,590	—	1,075	353	—	—	80	80
2	758	—	378	216	1	—	162	1
3	1,143	—	747	281	2	—	113	2

資 料：財務省関税局調査。

備 考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

(20) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価

Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵, K g / 円

項 目 Item	輸入生糸（通関ベース） Raw Silk Imprt				輸入絹糸（通関ベース） Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
年 月 Year & Month										
暦 年 Calendar Year										
1999	27,446	2,439	14,602	3,026	11,729	2,979	6,069	3,706	2,886	3,277
2000	30,147	2,655	11,772	3,340	13,769	2,789	5,712	3,543	6,255	3,168
2001	22,018	2,824	8,339	3,713	10,303	3,149	5,130	3,790	6,607	3,688
2002	24,521	2,241	7,909	3,192	13,256	2,556	6,097	3,299	7,122	3,053
2003	24,074	1,988	7,260	2,436	17,408	2,182	6,223	2,740	7,167	2,499
2004	18,016	2,435	7,387	3,631	13,280	2,576	7,444	3,038	7,076	2,624
2005	17,327	2,638	5,308	2,903	18,977	3,105	5,767	3,301	7,550	2,933
2006	14,739	3,736	6,181	4,188	17,019	4,172	5,675	4,543	8,706	3,643
2007	8,793	3,321	3,846	3,778	11,726	3,586	2,930	4,305	4,744	3,972
2008	12,190	3,104	4,153	3,490	12,627	3,361	3,204	3,989	6,865	3,220
2009	8,120	2,740	3,965	3,059	9,656	2,840	1,742	3,611	5,116	3,034
2010	8,411	3,667	3,706	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,606	3,411
2011	7,170	4,469	2,136	5,492	10,384	4,707	1,722	5,398	5,429	4,402
2010 - 11	843	3,983	234	3,650	790	3,984	81	4,161	526	3,478
12	651	4,225	572	3,906	877	4,277	141	4,503	465	3,918
2011 - 1	1,168	4,370	274	4,055	1,108	4,372	139	4,519	543	3,901
2	521	4,626	72	4,293	559	4,578	110	4,465	312	3,890
3	1,052	4,729	321	4,196	1,244	4,723	134	4,882	467	4,031
4	316	4,661	56	4,604	1,124	4,846	99	4,972	448	4,260
5	1,082	4,767	198	4,505	1,151	4,946	109	5,022	468	4,040
6	416	4,792	344	4,510	906	4,967	197	5,412	628	4,579
7	389	4,893	100	5,918	910	4,990	155	5,741	432	4,726
8	292	4,570	254	4,964	730	4,922	255	5,594	763	4,710
9	421	4,483	0	0	745	4,665	51	5,991	543	4,792
10	491	4,174	272	5,310	542	4,735	283	5,833	309	4,655
11	325	4,199	225	5,209	673	4,432	232	6,027	297	4,681
12	697	4,469	20	5,492	692	4,309	28	6,313	219	4,560
2012 - 1	1,149	4,180	36	5,260	1,075	4,131	92	5,958	353	4,345
2	289	4,024	193	5,297	378	4,137	162	5,560	216	4,264
3	870	4,296	61	5,241	747	4,323	113	6,187	281	4,731

資 料：財務省調査。通関統計による、単価はC I F 価格である。

Source：The customs Bureau, Ministry of Finance

Remarks：A unit price is CIF price.

(21) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位 : 1,000m²)
(Unit : 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics 年 月 Year & Month	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先 練 (先染) Dyed Yarn	
暦 年 Calendar Year									
2006	18,507	6,105	2,732	1,727	1,646	9,311	5,966	3,345	3,090
2007	15,466	5,215	2,276	1,547	1,392	7,709	4,671	3,038	2,542
2008	14,043	4,887	2,061	1,419	1,407	6,929	4,263	2,666	2,228
2009	11,472	4,015	1,732	1,193	1,090	5,663	3,449	2,214	1,794
2010	11,612	3,844	1,510	1,254	1,080	6,212	4,029	2,183	1,556
2011	10,419	3,980	2,510	187	1,272	4,437	1,813	2,613	2,001
2011 — 1	809	309	195	15	99	345	141	203	155
2	879	336	212	16	107	374	153	221	169
3	902	345	217	16	110	384	157	226	173
4	998	381	240	18	122	425	174	250	192
5	846	323	204	15	103	360	147	212	162
6	925	353	223	17	113	394	161	232	178
7	843	322	203	15	103	359	147	211	162
8	790	302	190	14	96	336	137	198	152
9	800	305	193	14	98	341	139	201	154
10	833	318	201	15	102	355	145	209	160
11	892	341	215	16	109	380	155	224	171
12	902	345	217	16	110	384	157	226	173
2012 — 1	801	365	199	16	151	255	143	112	181
2	818	373	204	16	154	260	146	115	185
3	829	378	206	17	156	263	147	116	187

資 料 : (社) 日本絹人織織物工業会。

備 考 : 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association.

Remarks : Spun and mixed fabrics included .

Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(22) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項目 Item 年月 Year & Month	絹織物生産数量		丹 後 Tango		長 浜 Nagahama		西 陣 Nishijin	
	Silk Fabrics Production		(白生地) (White Fabrics)		(白生地) (White Fabrics)		(帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2005	19,821	90.3	1,058,571	94.5	170,061	92.6	691,780	88.7
2006	18,526	93.5	912,027	86.2	132,448	78.1	598,040	86.4
2007	15,479	83.6	712,560	78.1	97,204	73.0	977,719	163.5
2008	13,914	89.9	656,919	92.2	88,401	90.8	867,490	88.7
2009	9,930	71.4	503,365	76.6	73,681	84.0	746,538	86.1
2010	11,661	117.4	515,721	102.5	80,701	110.0	859,244	115.1
2011	10,319	88.5	715,898	138.8	67,822	84.3	692,943	80.6
2010 — 1	834	95.2	31,911	114.2	5,989	110.3	64,521	91.9
2	939	90.9	46,194	95.2	6,366	106.2	68,288	85.2
3	965	96.6	43,859	99.8	7,813	117.2	75,704	106.9
4	997	101.0	44,458	101.1	7,506	110.9	86,802	122.7
5	981	104.9	42,508	107.0	6,642	128.7	70,454	140.9
6	1,103	109.3	44,160	96.4	7,316	112.7	72,395	121.7
7	1,014	105.8	44,163	109.5	7,146	110.8	63,858	101.9
8	901	105.6	39,856	105.9	7,022	124.4	60,415	141.3
9	962	99.9	41,925	94.7	6,925	114.0	64,965	121.3
10	995	105.4	46,366	114.9	5,807	96.3	78,060	135.0
11	1,004	102.7	45,283	95.1	6,553	94.7	68,940	104.3
12	966	103.1	45,018	104.1	5,616	92.7	68,067	110.1
2011 — 1	814	97.6	32,734	102.6	5,452	91.0	61,927	96.0
2	873	93.0	42,369	91.7	5,799	94.7	60,552	88.7
3	902	93.5	41,784	95.3	6,688	88.3	56,128	74.1
4	989	99.2	44,774	100.7	6,276	83.6	59,998	69.1
5	840	85.6	39,714	93.4	5,933	89.3	62,562	88.8
6	911	82.6	41,785	94.6	5,797	79.2	60,832	84.0
7	834	82.2	43,509	98.5	5,211	72.9	53,800	84.2
8	779	86.5	34,386	86.3	5,799	82.6	49,057	81.2
9	788	81.9	34,639	82.6	5,127	74.0	61,501	94.7
10	821	82.5	39,106	84.3	5,374	92.5	51,586	66.1
11	879	87.5	37,346	82.5	5,507	84.0	62,567	90.8
12	889	92.0	39,833	88.5	5,074	90.3	52,433	77.0
2012 — 1	801	98.4	29,890	91.3	4,581	84.0	51,823	83.7
2	818	93.7	38,352	90.5	5,430	93.6	65,046	107.4
3	829	91.9	37,766	90.4	5,019	75.0	62,163	110.8

資 料：絹織物生産数量は(社)日本絹人織織物工業会調査。主要3産地の生産量、出荷数量は社団法人日本生糸問屋協会調査。

備 考：2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver' s Association and Japan Raw Silk Dealer' s Association.

Remarks : Since Jan.2006, sash livings are included in sash production.

(23) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況
Consumption Expenditures of Total Households

項目 Item 年月 Year & Month	消費支出総額 Total		被服及び履物 Clothing&footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts & sweaters		下着類 Underwear	
	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)
暦年Calendar Year												
2004	304,203	0.5	13,572	▲ 2.8	559	10.5	5,257	▲ 3.5	2,936	0.9	1,213	▲ 4.7
2005	300,903	▲ 1.1	13,440	▲ 1.0	440	▲ 7.8	5,122	▲ 2.6	2,911	▲ 0.9	1,260	3.9
2006	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2009	291,737	▲ 0.2	11,994	▲ 3.3	261	▲ 12.0	4,622	▲ 4.2	2,468	▲ 4.0	1,098	▲ 2.9
2010	290,244	0.3	11,499	▲ 2.9	245	▲ 6.0	4,459	▲ 2.3	2,353	▲ 3.8	1,069	▲ 1.0
2011	282,955	▲ 2.5	11,381	▲ 1.0	270	10.0	4,273	▲ 4.2	2,425	3.1	1,100	2.9
2010 - 3	319,991	4.4	13,147	▲ 1.1	235	▲ 55.3	6,289	1.3	2,116	4.9	860	3.2
4	299,996	▲ 0.7	10,703	▲ 13.1	116	▲ 67.9	4,110	▲ 8.2	2,123	▲ 12.3	817	▲ 14.7
5	280,714	▲ 0.7	12,049	▲ 2.7	124	▲ 31.6	4,097	▲ 5.7	2,834	4.1	1,079	4.0
6	276,494	0.5	11,514	▲ 0.9	77	▲ 34.5	3,902	1.2	2,746	▲ 4.8	1,112	▲ 0.9
7	285,274	1.1	12,273	4.4	755	261.6	3,878	1.2	3,022	0.3	1,266	▲ 0.8
8	293,361	1.7	8,718	▲ 1.0	174	▲ 52.6	2,946	5.0	2,094	▲ 3.3	960	7.5
9	275,367	0.0	9,165	▲ 4.1	395	84.4	3,074	▲ 5.9	1,915	▲ 9.4	916	0.4
10	287,433	▲ 0.4	12,763	5.1	238	215.7	5,000	7.5	2,642	▲ 0.9	1,305	9.3
11	284,212	▲ 0.4	12,530	▲ 7.8	221	▲ 6.7	5,025	▲ 9.6	2,385	▲ 3.4	1,310	▲ 5.1
12	327,006	▲ 3.3	12,802	▲ 11.3	69	▲ 79.9	5,205	▲ 9.5	2,280	▲ 13.2	1,435	▲ 12.8
2011 - 1	289,191	▲ 0.3	12,521	▲ 3.7	120	17.2	5,405	▲ 8.1	2,749	6.1	1,135	9.3
2	260,793	0.5	8,720	▲ 6.7	282	▲ 36.0	3,802	▲ 5.0	1,445	▲ 12.3	735	2.5
3	291,900	▲ 8.2	11,013	▲ 16.0	451	92.1	5,014	▲ 19.8	1,772	▲ 15.4	773	▲ 10.2
4	292,559	▲ 2.0	11,212	5.0	92	▲ 20.2	4,183	2.3	2,398	14.0	900	10.0
5	276,159	▲ 1.2	11,906	▲ 0.7	49	▲ 60.7	4,099	0.4	2,789	▲ 1.1	1,158	7.6
6	265,807	▲ 3.5	11,384	▲ 0.6	113	44.8	3,620	▲ 7.0	2,907	5.5	1,234	11.8
7	280,046	▲ 2.1	12,078	▲ 1.9	281	▲ 63.3	4,068	4.0	3,103	1.9	1,329	6.1
8	282,008	▲ 4.1	8,921	1.8	456	159.0	2,693	▲ 9.6	2,059	▲ 2.8	943	▲ 0.5
9	270,010	▲ 1.9	8,709	▲ 5.0	221	▲ 44.4	2,966	▲ 3.7	1,895	▲ 1.6	863	▲ 5.1
10	285,605	▲ 0.4	13,099	2.3	625	161.8	5,023	▲ 0.2	2,790	4.8	1,201	▲ 7.4
11	273,428	▲ 3.2	13,230	5.6	490	122.6	5,026	0.1	2,649	10.0	1,280	▲ 1.1
12	327,949	0.5	13,777	7.6	54	▲ 21.5	5,378	3.2	2,543	10.7	1,645	15.9
2012 - 1	283,118	▲ 2.3	13,163	4.4	270	124.8	5,502	1.0	2,674	5.5	1,138	0.4
2	267,895	2.3	8,830	0.5	380	34.9	3,711	▲ 3.4	1,546	4.7	734	0.6
3	303,841	3.4	12,167	10.2	148	▲ 67.1	5,512	10.2	2,065	13.2	878	14.9

資料:総務省統計局「家計調査報告」。2人以上で構成される8,000世帯を集計。

備考:「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4項目以外の費目も含む。年数値は月平均。

Source:Family Income and Expenditure Survey by Statistics Bureau, MIC.

Added up 8,000 two-or-more-person households.

Remarks:Clothing&footwear includes japanese clothing ,clothing ,shirts&sweaters and other items.

Year value is mean of the each month

一資料・海外一

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2005年	2006年	2007年
		トン	トン	トン
日本	Japan	626	505	433
中国	China	621,461	739,715	779,261
インド	India	126,261	135,462	132,038
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	7,146	8,051	8,617
タイ	Thailand	10,650	10,100	1,785
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	2,543	2,104	1,665
トルコ	Turkey	170	350	130
インドネシア	Indonesia	691	339	470
ブルガリア	Bulgaria	42	65	55
ギリシャ	Greece	70	100	104
フィリピン	Philippines	14.4	16	9
シリア	Syria	5.5	3	2.5
主要国の計	Total	810,680	937,810	965,570

区 分		2008年	2009年	2010年
		トン	トン	トン
日本	Japan	382	327	265
中国	China	683,387	575,299	617,915
インド	India	124,834	131,661	131,924
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	6,266	4,835	4,439
タイ	Thailand	7,700	4,655	4,655
ウズベキスタン	Uzbekistan	25,760	25,896	20,000
イラン	Iran	1,185	1,185	1,185
トルコ	Turkey	126	140	140
インドネシア	Indonesia	273	133	161
ブルガリア	Bulgaria	48	51	75
ギリシャ	Greece	100	100	100
フィリピン	Philippines	6	4	4
シリア	Syria	3	4	4
主要国の計	Total	871,070	765,290	801,867

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2005年		2006年		2007年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	151	2,500	119	2,000	105	1,800
中国	China	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000	108,420	1,807,000
インド	India	15,445	257,400	16,525	275,400	16,245	270,800
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,285	21,400	1,387	23,100	1,220	20,300
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,080	18,000	760	12,700
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	395	6,600	324	5,400	253	4,200
トルコ	Turkey	30	500	25	400	20	300
インドネシア	Indonesia	91	1,500	47	800	65	1,100
ブルガリア	Bulgaria	6	100	5	100	7.5	100
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1.1	0	1.6	0	1	0
シリア	Syria	0.7	0	0.5	0	0	0
主要国の計	Total	109,940	1,832,300	115,973	1,933,100	130,451	2,174,200

区 分		2008年		2009年		2010年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	95	1,600	69	1,200	53	900
中国	China	98,620	1,643,700	92,455	1,540,900	95,778	1,596,300
インド	India	15,610	260,200	16,322	272,000	16,360	272,700
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,177	19,600	811	13,500	770	12,800
タイ	Thailand	1,100	18,300	665	11,100	665	11,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,417	23,600	2,447	40,800	2,100	35,000
イラン	Iran	180	3,000	180	3,000	180	3,000
トルコ	Turkey	15	300	20	300	20	300
インドネシア	Indonesia	37	600	19	300	20	300
ブルガリア	Bulgaria	7.5	100	6.3	100	9.4	160
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	1	0	1	0
シリア	Syria	0.4	0	0.6	0	0.6	0
主要国の計	Total	120,514	2,008,600	115,250	1,920,800	118,211	1,970,160

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSED)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSED).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(3)中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数

Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

省 Province	区分	家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%)(MT. %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%)(MT. %)		
		2008	2009	対前年比 2009/08	2008	2009	対前年比 2009/08
山 西	Shanxi	6,033	4,046	67	64	266	416
河 北	Hebei	1,000	1,200	120	-	-	-
江 蘇	Jiangsu	95,476	73,175	77	20,450	17,800	87
浙 江	Zhejiang	64,319	45,600	71	17,950	15,000	84
安 徽	Anhui	33,400	24,800	74	5,500	5,200	95
江 西	Jiangxi	10,015	7,602	76	2,570	2,900	113
山 東	Shandong	34,530	23,900	69	5,530	5,800	105
河 南	Henan	11,641	10,101	87	2,800	2,100	75
湖 北	Hubei	21,200	17,150	81	332	555	167
湖 南	Hunan	4,300	3,182	74	58	104	179
広 東	Guangdong	70,693	53,321	75	1,513	1,722	114
広 西	Guangxi	170,900	172,900	101	14,069	16,237	115
重 慶	Chongqing	22,110	17,311	78	5,497	4,200	76
四 川	Sichuan	68,576	70,000	102	16,400	14,900	91
貴 州	Guizhou	3,626	2,751	76	23	105	457
雲 南	Yunnan	40,348	30,230	75	2,871	2,237	78
陝 西	Shaanxi	23,800	17,200	72	2,868	3,263	114
甘 肅	Gansu	420	253	60	-	-	-
寧 夏	Ningxia	520	126	24	30	-	-
新 疆	Xinjiang	480	450	94	30	-	-
内 蒙 古	Inner Mongolia	-	-	-	65	66	102
合 計	Total	683,387	575,298	84	98,620	92,455	94

製糸工場数（件） Number of Filatures		
2006	2008	前年比 2008/06
702	682	97

資料：中国絲綢協会資料による

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移

Domesticated Cocoon Production in China (1998年～2009年)

(単位：万トン) (Unit: 10,000ton)

地域	Area	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	前年比 09/08(%)
北 京	Beijing													
天 津	Tianjin													
河 北	Hebei	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				0.1	0.1	0.1	100.0
山 西	Shanxi	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	66.7
内 蒙 古	Inner Mongolia													
遼 寧	Liaoning													
吉 林	Jilin													
黒 龍 江	Heilongjiang													
上 海	Shanghai							0.0	0.0					
江 蘇	Jiangsu	8.5	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	10.4	9.5	7.3	76.8
浙 江	Zhejiang	10.4	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	8.4	6.4	4.6	71.9
安 徽	Anhui	2.5	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	3.8	3.3	2.5	75.8
福 建	Fujian													
江 西	Jiangxi	0.4	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	0.8	80.0
山 東	Shandong	4.2	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	4.0	3.5	2.4	68.6
河 南	Henan	0.6	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	1.4	1.2	1.0	83.3
湖 北	Hubei	1.4	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	1.6	2.1	1.7	81.0
湖 南	Hunan	0.1			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	75.0
広 東	Guangdong	2.1	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	8.1	7.1	5.4	76.1
広 西	Guangxi	1.8	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	20.5	17.1	17.3	101.2
海 南	Hainan													
重 慶	Chongqing	2.9	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	2.5	2.2	1.7	77.3
四 川	Sichuan	9.3	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	8.4	6.9	7.0	101.4
貴 州	Guizhou	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3	75.0
雲 南	Yunnan	0.7	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	3.7	4.0	3.0	75.0
チベット	Tibet													
陝 西	Shaanxi	1.6	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	2.5	2.4	1.7	70.8
甘 肅	Gansu							0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	
青 海	Qinghai													
寧 夏	Ningxia							0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	
新 疆	Xinjiang	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
合 計	Total	47.5	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	77.9	68.3	57.5	84.2

資料：2003年までは中国国家统计局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China

Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(5) 中国のシルク類（生糸・絹糸・絹織物）の輸出状況

中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China
(2011年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 インド	India	4,114,330	77.39	209,055	99.41
2 ルーマニア	Romania	728,603	143.27	38,055	188.12
3 ベトナム	Vietnam	624,467	90.79	30,709	111.16
4 韓国	South Korea	466,392	88.91	24,529	115.70
5 日本	Japan	402,960	83.31	22,568	111.16
6 イタリア	Italy	312,007	89.72	17,274	116.30
7 バングラデッシュ	Bangladesh	88,325	52.99	4,362	70.01
8 ミャンマー	Myanmar	82,273	104.43	4,205	138.86
9 ブラジル	Brazil	44,245	100.00	2,354	100.00
10 パキスタン	Pakistan	40,709	47.66	1,967	62.88
11 その他	Others	217,448	70.29	11,646	97.37
合計	Total	7,121,759	83.70	366,724	108.23

中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China
(2012年1月～4月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11(%)	2012年実績	12/11(%)
1 インド	India	1,232,122	87.26	56,333	73.91
2 ルーマニア	Romania	238,049	131.31	11,711	124.81
3 ベトナム	Vietnam	189,143	102.16	8,512	89.17
4 韓国	South Korea	154,415	88.04	7,404	77.79
5 日本	Japan	154,203	87.23	8,144	82.50
6 イタリア	Italy	99,869	93.30	5,008	85.12
7 バングラデッシュ	Bangladesh	42,895	192.96	1,833	153.87
8 ミャンマー	Myanmar	34,399	169.19	1,579	143.11
9 ブルガリア	Bulgaria	23,570	—	1,163	—
10 ブラジル	Brazil	17,357	134.78	0,937	131.41
11 その他	Others	50,171	60.00	2,457	53.63
合計	Total	2,236,193	94.09	105,080	82.09

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 インド	India	869,361	51.22	44,614	65.61
2 日本	Japan	653,654	103.35	37,423	139.39
3 イタリア	Italy	531,110	99.37	30,546	133.79
4 パキスタン	Pakistan	269,373	56.51	14,021	71.53
5 ドイツ	Germany	200,792	99.30	10,260	136.17
6 韓国	South Korea	182,339	96.21	9,758	124.35
7 タイ	Thailand	135,954	90.15	7,874	123.34
8 インドネシア	Indonesia	94,087	108.31	4,865	144.63
9 マレーシア	Malaysia	33,138	60.02	1,702	76.47
10 ベトナム	Vietnam	31,400	95.95	1,603	106.34
11 その他	Others	182,519	58.21	8,392	87.15
合計	Total	3,183,727	72.82	171,058	97.32

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11(%)	2012年実績	12/11(%)
1 日本	Japan	197,580	78.93	10,474	75.22
2 インド	India	167,279	47.57	7,445	39.03
3 イタリア	Italy	117,836	54.21	6,066	49.79
4 ドイツ	Germany	84,024	164.89	4,421	185.03
5 パキスタン	Pakistan	83,012	110.22	3,861	92.43
6 韓国	South Korea	64,616	136.39	3,024	118.94
7 タイ	Thailand	33,547	56.93	1,679	49.56
8 ベトナム	Vietnam	27,575	236.23	1,306	230.19
9 インドネシア	Indonesia	25,330	150.14	1,205	138.01
10 シリア	Syria	7,728	—	0,630	—
11 その他	Others	51,445	67.37	2,601	68.17
合計	Total	859,972	74.34	42,145	66.97

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 パキスタン	Pakistan	49,142,622	93.07	162,071	121.71
2 イタリア	Italy	33,520,431	67.64	185,559	106.99
3 インド	India	32,139,948	56.67	144,785	74.37
4 韓国	South Korea	14,649,985	85.76	101,387	112.05
5 香港	Hong Kong	13,900,523	89.56	83,993	119.62
6 日本	Japan	10,567,943	90.72	46,593	116.75
7 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	7,508,512	88.65	37,343	119.20
8 マレーシア	Malaysia	6,361,626	81.22	37,976	99.90
9 米国	United States	6,247,924	103.71	44,198	125.30
10 チュニジア	Tunisia	6,132,107	115.84	11,006	140.29
11 その他	Others	37,726,968	87.92	203,149	114.01
合計	Total	217,898,589	79.57	1,058,060	106.60

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11(%)	2012年実績	12/11(%)
1 パキスタン	Pakistan	14,190,786	125.24	51,631	141.40
2 イタリア	Italy	10,388,746	70.47	57,957	83.77
3 インド	India	7,449,385	68.76	34,246	72.73
4 香港	Hong Kong	4,769,738	115.86	33,833	127.74
5 韓国	South Korea	4,022,257	89.84	26,314	101.57
6 日本	Japan	3,196,969	81.30	14,276	87.01
7 マレーシア	Malaysia	2,470,334	101.74	14,130	95.36
8 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	2,202,166	87.92	12,892	117.11
9 米国	United States	2,039,166	103.47	14,354	109.06
10 トルコ	Turkey	1,247,195	63.22	6,686	68.57
11 その他	Others	10,797,732	84.80	54,905	90.99
合計	Total	62,774,474	88.36	321,225	97.14

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

(6) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率

Total Wage Bill of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	賃金総額（億元） Wage Bill (100million yuan)				対前年増減率（％） Indices (preceding year=100)			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1995年	8,255.8	6,172.6	1,210.6	672.7	21.8	17.4	15.6	42.2
1996年	9,249.4	6,893.3	1,269.4	801.7	12.0	11.7	4.9	19.2
1997年	9,602.4	7,323.9	1,283.9	994.5	3.8	6.2	1.1	24.0
1998年	9,540.2	6,934.6	1,054.9	1,550.7	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 17.8	55.9
1999年	10,155.9	7,289.9	995.8	1,870.1	6.5	5.1	▲ 5.6	20.6
2000年	10,954.7	7,744.9	950.7	2,259.1	7.9	6.2	▲ 4.5	20.8
2001年	12,205.4	8,515.2	898.5	2,791.7	11.4	9.9	▲ 5.5	23.6
2002年	13,638.1	9,138.0	863.9	3,636.2	11.7	7.3	▲ 3.9	30.3
2003年	15,329.6	9,911.9	867.1	4,550.6	12.4	8.5	0.4	25.1
2004年	17,615.0	11,038.2	876.2	5,700.6	14.9	11.4	1.0	25.3
2005年	20,627.1	12,291.7	906.4	7,429.0	17.1	11.4	3.4	30.3
2006年	24,262.3	13,920.6	983.8	9,357.9	17.6	13.3	8.5	26.0
2007年	29,471.5	16,689.1	1,108.1	11,674.3	21.5	19.9	12.6	24.8
2008年	35,289.5	19,487.9	1,203.2	14,598.4	19.7	16.8	8.6	25.0
2009年	40,288.2	21,862.7	1,273.3	17,152.1	14.2	12.2	5.8	17.5
2010年	47,269.9	24,886.0	1,433.7	20,949.7	17.3	13.8	12.6	22.1

資料：中国統計年鑑(2011)

Source: China Statistical Yearbook 2011

(7) 中国企業別従業員年間平均賃金及びその対前年増減率

Average Wage of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	年平均賃金 (元) Average Wage (yuan)				対 前 年 増 減 率 (%) Indices(preceding year=100)							
					名 目 賃 金Average Wage				実 質 賃 金Average Real Wage			
	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1995年	5,348	5,553	3,934	7,728	18.9	17.3	21.1	19.9	1.8	0.4	3.7	2.6
1996年	5,980	6,207	4,312	8,521	11.8	11.8	9.6	10.3	2.8	2.7	0.7	1.3
1997年	6,444	6,679	4,516	9,092	7.8	7.6	4.7	6.7	4.5	4.4	1.6	3.5
1998年	7,446	7,579	5,314	9,241	15.5	13.5	17.7	1.6	16.2	14.2	18.4	2.3
1999年	8,319	8,443	5,758	10,142	11.7	11.4	8.4	9.8	13.2	12.9	9.8	11.2
2000年	9,333	9,441	6,241	11,238	12.2	11.8	8.4	10.8	11.3	10.9	7.5	9.9
2001年	10,834	11,045	6,851	12,437	16.1	17.0	9.8	10.7	15.3	16.2	9.0	9.9
2002年	12,373	12,701	7,636	13,486	14.2	15.0	11.5	8.4	15.4	16.2	12.6	9.5
2003年	13,969	14,358	8,627	14,843	12.9	13.0	13.0	10.1	11.9	12.0	12.0	9.1
2004年	15,920	16,445	9,723	16,519	14.0	14.5	12.7	11.3	10.3	10.9	9.1	7.7
2005年	18,200	18,978	11,176	18,362	14.3	15.4	14.9	11.2	12.5	13.6	13.1	9.4
2006年	20,856	21,706	12,866	21,004	14.6	14.4	15.1	14.4	12.9	12.7	13.4	12.7
2007年	24,721	26,100	15,444	24,271	18.5	20.2	20.0	15.6	13.4	15.0	14.8	10.6
2008年	28,898	30,287	18,103	28,552	16.9	16.0	17.2	17.6	10.7	9.8	11.0	11.4
2009年	32,244	34,130	20,607	31,350	11.6	12.7	13.8	9.8	12.6	13.7	14.8	10.8
2010年	36,539	38,359	24,010	35,801	13.3	12.4	16.5	14.2	9.8	8.9	12.9	10.7

中国統計年鑑2011 Source:China Statistical Yearbook 2011

(8)中国産業別従業員年平均賃金の推移

Average Wage of Employed Persons in Urban Units by Sector

(単位:元)(yuan)

産業別 Sector	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
農、林、牧、漁業 Agriculture, Forestry, Fishery	6,884	7,498	8,207	9,269	10,847	12,560	14,356	16,717
採掘業 Mining	13,627	16,774	20,449	24,125	28,185	34,233	38,038	44,196
製造業 Manufacturing	12,671	14,251	15,934	18,225	21,144	24,404	26,810	30,916
電力、ガス、水道業 Production/Distribution of Electricity, Gas and Water	18,574	21,543	24,750	28,424	33,470	38,515	41,869	47,309
建築業 Construction	11,328	12,578	14,112	16,164	18,482	21,223	24,161	27,529
交通、運輸、倉庫、郵便業 Transport, Storage and Post	15,753	18,071	20,911	24,111	27,903	32,041	35,315	40,466
情報通信コンピューターサービス Information Transmission, Computer Service and Software	30,897	33,449	38,799	43,435	47,700	54,906	58,154	64,436
卸売、小売業 Wholesale and Retail Trades	10,894	13,012	15,256	17,796	21,074	25,818	29,139	33,635
ホテル、飲食業 Hotels and Catering Services	11,198	12,618	13,876	15,236	17,046	19,321	20,860	23,382
金融業 Financial Intermediation	20,780	24,299	29,229	35,495	44,011	53,897	60,398	70,146
不動産業 Real Estate	17,085	18,467	20,253	22,238	26,085	30,118	32,242	35,870
賃貸、リース業 Leasing and Business Services	17,020	18,723	21,233	24,510	27,807	32,915	35,494	39,566
科学研究、技術サービス業 Scientific Research, Technical Services	20,442	23,351	27,155	31,644	38,432	45,512	50,143	56,376
水利、環境管理業 Manage of Water Conservancy, Environment and Public Services	11,774	12,884	14,322	15,630	18,383	21,103	23,159	25,544
家庭サービス業 Services to Households and Other Services	12,665	13,680	15,747	18,030	20,370	22,858	25,172	28,206
教育 Education	14,189	16,085	18,259	20,918	25,908	29,831	34,543	38,968
衛生、社会保障、社会福祉業 Health, Social Securities and Entertainment	16,185	18,386	20,808	23,590	27,892	32,185	35,662	40,232
文化、スポーツ、娯楽業 Culture, Sports and Entertainment	17,098	20,522	22,670	25,847	30,430	34,158	37,755	41,428
公共機関、社会団体 Public Management and Social Organization	15,355	17,372	20,234	22,546	27,731	32,296	35,326	38,242
合 計 Total	13,969	15,920	18,200	20,856	24,721	28,898	32,244	36,539

(出所)中国統計年鑑2011

Source: China Statistical Yearbook 2011

上記を円(Yen)換算

産業別 Sector	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
製造業 Manufactur	184,236	192,389	212,560	273,375	317,160	366,060	375,340	401,908
合 計 Total	203,109	214,920	242,788	312,840	370,815	433,470	451,416	475,007
年別人民元yuan/円yenレート	14.54	13.50	13.34	15.00	15.00	15.00	14.00	13.00

(9) 中国省別従業員年平均賃金(2010年)

Average Wage of Employed Persons Urban Units by Region

省(区)別 Region			年平均賃金(単位: 元)(yuan)	円換算(円) (yen)	対全国平均比(%) Indices(average=100)
北	京	Beijing	65,158	847,054	178.32
天	津	Tianjin	51,489	669,357	140.92
河	北	Hebei	31,451	408,863	86.08
山	西	Shanxi	33,057	429,741	90.47
内	蒙	Inner Mongolia	35,211	457,743	96.37
遼	寧	Liaoning	34,437	447,681	94.25
吉	林	Jilin	29,003	377,039	79.38
黒	龍	Heilongjiang	27,735	360,555	75.91
上	海	Shanghai	66,115	859,495	180.94
江	蘇	Jiangsu	39,772	517,036	108.85
浙	江	Zhejiang	40,640	528,320	111.22
安	徽	Anhui	33,341	433,433	91.25
福	建	Fujian	32,340	420,420	88.51
江	西	Jiangxi	28,363	368,719	77.62
山	東	Shandong	33,321	433,173	91.19
河	南	Henan	29,819	387,647	81.61
湖	北	Hubei	31,811	413,543	87.06
湖	南	Hunan	29,670	385,710	81.20
広	東	Guangdong	40,432	525,616	110.65
広	西	Guangxi	30,673	398,749	83.95
海	南	Hainan	30,775	400,075	84.23
重	慶	Chongqing	34,727	451,451	95.04
四	川	Sichuan	32,567	423,371	89.13
貴	州	Guizhou	30,433	395,629	83.29
雲	南	Yunnan	29,195	379,535	79.90
西	蔵	Tibet	49,898	648,674	136.56
陝	西	Shaanxi	33,384	433,992	91.37
甘	肅	Gansu	29,096	378,248	79.63
青	海	Qinghai	36,121	469,573	98.86
寧	夏	Ningxia	37,166	483,158	101.72
新	疆	Xinjiang	32,003	416,039	87.59
全国平均		Average	36,539	475,007	100.00

(出所) 中国統計年鑑2011 Source: China Statistical Yearbook 2011

(注) 1元=13円 Note: 1yuan=13yen

(10)ブラジルの繭・生糸生産数量の推移
Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9～8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)	暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1988/89	11,470	1988	1,748,996	29,150
1989/90	15,829	1989	1,696,622	28,277
1990/91	17,221	1990	1,693,206	28,220
1991/92	17,586	1991	2,077,155	34,619
1992/93	19,134	1992	2,296,053	38,268
1993/94	18,260	1993	2,325,809	38,763
1994/95	16,260	1994	2,535,440	42,257
1995/96	15,368 (95%)	1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996/97	14,811 (96%)	1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997/98	14,594 (99%)	1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998/99	10,305 (71%)	1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999/2000	8,473 (82%)	1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000/01	9,916 (117%)	2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001/02	10,238 (103%)	2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002/03	9,966 (97%)	2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003/04	8,005 (80%)	2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004/05	7,146 (89%)	2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005/06	8,051 (113%)	2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006/07	8,617 (107%)	2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007/08	6,266 (73%)	2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008/09	4,835 (77%)	2008	1,176,885 (97%)	19,615
2009/10	4,439 (92%)	2009	811,020 (69%)	13,517
2010/11 〔見込み〕 [Estimate]	3,161 (71%)	2010	770,000 (95%)	12,833
		2011 〔見込み〕 [Estimate]	557,000 (72%)	9,283

資料: ブラジル製糸協会

注: ()内は対前年比

〔 〕内の見込みは2011年2月現在

Source: ABRASSEDA

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of February 2011.

(11) ブラジル繭、生糸・絹撚糸、絹織物の生産、輸入及び輸出状況(総括表)

Production, Import and Export of Raw Silk, Twisted Silk and Silk Fabrics in Brazil (Summary)

年次 Year	生産 Production	年次 Year	輸入 Import	年次 Year	輸出 Export
	生繭Wet Cocoon (ton)		乾繭Dry Cocoon (kg)		乾繭Dry Cocoon (kg)
94/95	16,260	95	82,000	95	101,095
95/96	15,368	96	14,000	96	68,760
96/97	14,811	97	-	97	341,000
97/98	14,594	98	-	98	569,200
98/99	10,305	99	-	99	60,000
99/00	8,473	00	-	00	-
00/01	9,916	01	1,890	01	73,600
01/02	10,238	02	-	02	220,483
02/03	9,966	03	-	03	118,574
03/04	8,005	04	-	04	47,350
04/05	7,146	05	5,000	05	12,326
05/06	8,051	06	-	06	4,030
06/07	8,617	07	-	07	72,000
07/08	6,266	08	-	08	-
08/09	4,835	09	-	09	1,000
09/10	4,439	10*	-	10*	1,000
年次 Year	生糸 Raw Silk (ton)	年次 Year	生糸 Raw Silk (kg)	年次 Year	生糸と撚糸 Raw Silk and Twisted
95	2,468	95	1,700	95	2,321,040
96	2,270	96	6,200	96	2,174,636
97	2,120	97	1,100	97	1,892,930
98	1,821	98	1,080	98	1,678,193
99	1,554	99	863	99	1,742,670
00	1,389	00	43,653	00	1,474,225
01	1,485	01	51,822	01	1,287,693
02	1,607	02	29,524	02	1,415,284
03	1,563	03	27,493	03	1,488,333
04	1,512	04	11,943	04	1,353,551
05	1,285	05	27,571	05	1,129,838
06	1,387	06	47,455	06	1,173,284
07	1,220	07	67,686	07	1,150,297
08	1,177	08	124,831	08	994,801
09	811	09	76,478	09	866,759
10	770	10*	40,000	10*	643,000
年次 Year	絹織物 Silk Fabrics (ton)	年次 Year	絹織物 Silk Fabrics (kg)	年次 Year	絹織物 Silk Fabrics (kg)
95	128	95	168,500	95	8,000
96	53	96	129,900	96	200
97	56	97	119,600	97	550
98	97	98	55,300	98	121
99	74	99	47,900	99	2,472
00	106	00	54,701	00	488
01	106	01	63,241	01	2,699
02	163	02	44,664	02	332
03	167	03	54,282	03	1,068
04	177	04	91,078	04	2,429
05	210	05	182,725	05	9,090
06	146	06	117,426	06	16,405
07	162	07	102,906	07	26,698
08	159	08	150,837	08	4,217
09	112	09	124,192	09	2,773
10*	101	10*	110,000	10*	3,000

資料: ブラジル製糸協会

注: *印は見込み数値

Source: ABRASEDA

Note: *Forecast

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

シルクレポート 2012 年 7 月号 NO.25 平成 24 年 7 月 1 日発行

編集 / 発行
(問い合わせ先)

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 5 階
TEL : 03-3214-3500
FAX : 03-3214-3511
URL:<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

製本 / 印刷 株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず